YAMAHA

POCKET RECORDER

POCKETRAK C24

取扱説明書

（保証書付）

JA

ごあいさつ

このたびは、ヤマハ ポケットレコーダー POCKETRAK C24 (ポケットラック C24) をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
POCKETRAK C24 は、ライブ録音や楽器練習の録音などの音楽用途に最適なポケットレコーダーです。
付属の DAW ソフトウェア「Cubase AI」を使えば、録音した音声ファイルを編集することもできます。

POCKETRAK C24 の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

目次

入門編

応用編

PDF 形式の取扱説明書について

本機の内蔵メモリーの中に本取扱説明書の PDF ファイルが保存されています。
必要に応じてコンピューター画面上でご覧ください（98 ページ)。

PDF ファイルをご覧になるには、コンピューターに Adobe Reader(無償）がインストールされている必要があります。お持ちでない方は、Adobe 社のウェブサイト <http://www.adobe.co.jp/> からダウンロードしてください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

⚠	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
(禁止記号)	～しないでくださいという「禁止」を示します。
(強制記号)	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「危険」「警告」「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」、「警告」、「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が切迫して生じる」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本機について

⚠ 危険

使用時の注意

禁止

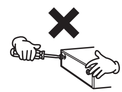
運転中は使用しない。
自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら、本機を操作したり、ヘッドフォンやイヤフォンなどを使用すると、交通事故の原因になります。

⚠ 警告

分解禁止

禁止

本機の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意

禁止

本機の近くに花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

異常に気づいたら

必ず実行

本機を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源を切る。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

(5)-11 1/3

⚠ 注意

設置

禁止

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本機のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない。
本機が落下して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
本機またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

使用時の注意

禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンやイヤフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止

本機の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本機が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

データのバックアップ

必ず実行

保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはコンピューターなどの外部機器にバックアップされることをおすすめします。

電池について

⚠ 危険

必ず実行

電池の液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける。
異常状態のまま使用し続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因になります。液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因になります。

⚠ 警告

禁止

電池を長時間入れたままにしない。
本機を長時間(1 週間程度)使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。

禁止

電池を変形、分解、改造しない。
変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因になります。

禁止

電池のプラスとマイナス(+と−)を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因になります。

禁止

電池を火の中に入れたり、加熱したりしない。
絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因になります。

禁止

電池の外装をはがしたり、傷つけたりしない。
外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

必ず実行

電池を指示どおりに入れる。
電池のプラスとマイナス(+ と−)に注意し、指示どおりに入れてください。
万一極性を逆に入れた場合、異常な電流が流れて、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

必ず実行

電池は必ず指定のものを使用する。
指定(同一型名または同等品)以外の電池に交換しないでください。指定以外の電池を使用すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

禁止

電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。誤って電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

禁止

本機を使用しているときに電池を抜かない。
データが壊れたり、故障の原因になります。

必ず実行

録音するときや、録音内容を消去するときは、電池残量を確認する。
録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったときは、すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。
消去の途中で電池切れになると、録音内容は消去できません。

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状が出たときには、医師に相談してください。

- **データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。**
- **不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。**

使用後は、必ず電源を切りましょう。

スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

※ この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標および著作権について

※ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

(5)-11 3/3

はじめに

特長

- **軽量、コンパクトな多機能レコーダー**
  57g のコンパクトなボディにスピーカー、内蔵ステレオマイク、メモリー (2GB) が搭載されています。
- **録音ピークリミッター（46 ページ）**
  過度のマイク入力レベルを自動で調整し、音の歪みを抑えて録音します。
- **チューナー、メトロノーム搭載（65、67 ページ）**
  楽器練習などの音楽用途に便利な機能です。
- **ALC（オートレベルコントロール）機能（16、42 ページ）**
  録音レベルを自動調整しますので、簡単に録音ができます。
- **VAS（自動録音機能）(48 ページ）**
  入力レベルを感知して自動的に録音を開始します。楽器練習などを記録しておくときに便利です。
- **クリップ付属（10 ページ）**
  マイクスタンドや譜面台などに取り付けできます。
- **DAW ソフトウェア「Cubase AI」付属（107 ページ）**
  録音した音声ファイルの編集やミキシングができます。

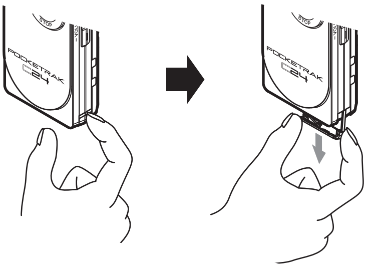
付属品と取り付け

- **単 4 形アルカリ乾電池（1 本）**
- **クリップ**
- **DVD-ROM**
  DAW(Digital Audio Workstation) ソフトウェア「Cubase AI」が入っています。
  ご使用前に 118 ページの「同梱ディスクについて」をお読みください。
- **取扱説明書（本書 : 保証書付）**

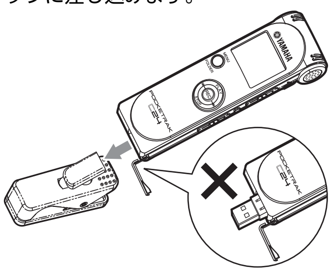
■クリップの取り付け

付属のクリップを使って、マイクスタンドや譜面台に本機を取り付けることができます。

1. 本機の側面に爪をかけ USB 端子カバーを外します。

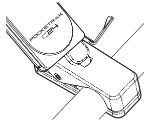


2. USB 端子を本機内に収納したまま、クリップに差し込みます。

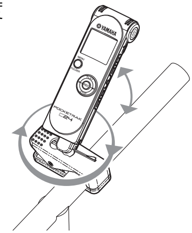


⚠ **注意**

USB 端子を出したまま差し込んだり、差し込みがゆるいと、外れる場合がありますので、奥までしっかり差し込んでください。



クリップは 360 度回転しますので、自由に方向を変えることができます。



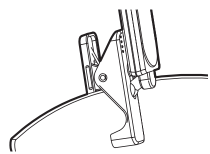
⚠ **注意**

本機やクリップに無理な力を加えたり、必要以上に回転させないでください。クリップが破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

3. USB 端子スライドスイッチを指で上側に押さえたまま、本機を取り外します。

Note :

- 取り外したときに、USB 端子が本機から出る場合があります。その場合は、スライドスイッチを上方向にスライドさせて USB 端子を収納してください。
- クリップは POCKETRAK C24 専用です。他の USB 機器などに使用しないでください。
- 譜面台に取り付けるときは、クリップを奥までしっかり差し込んでください。

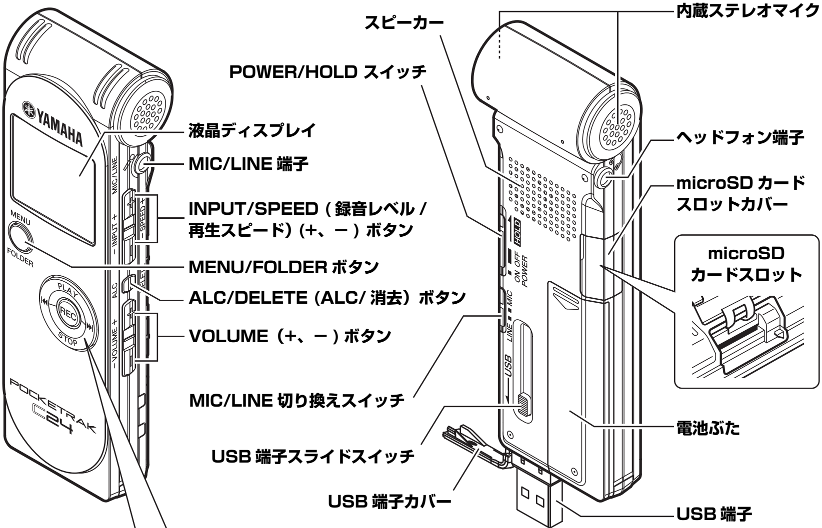


- ジョイント部に潤滑剤を使用していますので、触れないようご注意ください。

各部の名称と機能

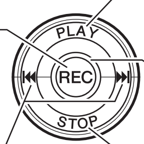
各機能の詳細な説明は、応用編 (32 ページ）をご 覧ください。

本体



REC(録音）ボタン
録音を開始、一時停止します。
メニュー操作中は、選択した内容を決定して、次の画面に移動します。

|◀◀ / ▶▶| (早戻し、早送り）ボタン
再生中はファイルの早戻し、早送り、ファイルの頭出しをします。
停止中は、フォルダー内のファイルを選択します。
メニュー操作中は、右 (または左）の項目や一つ上（または下）の階層へ移動します。



PLAY(再生）ボタン
ファイルを再生します。
メニュー操作中は、一つ上の項目へカーソルを移動します。

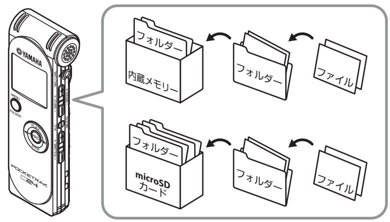
LED ランプ
録音中は赤く点灯し、過大入力時や録音スタンバイ時は赤く点滅します（お買い上げ時)。

STOP(停止) ボタン
録音や再生を停止します。
メニュー操作中は、一つ下の項目へカーソルを移動します。

ファイル / フォルダー / メモリーについて

■ファイル / フォルダー

本機では、1 回の録音単位を「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダー」と呼びます。「ファイル」は下記のいずれかの「フォルダー」に収容され、本機内蔵メモリーまたは microSD カードに保存されます。
本機をコンピューターに接続すると、すべてのフォルダーを確認できます（96 ページ）。



MIC(A ～ D) / MIC_(A ～ D)_SD:

本機でマイク録音した音声ファイル (WAV、MP3 形式）が保存されているフォルダーです。A ～ D の 4 つのフォルダーがありますので、A →楽器演奏、B →会議など、用途に応じてファイルの収納場所を分けると、あとから必要なファイルを探しやすくなります。

LINE(L) / LINE(L)_SD:

外部機器からライン録音したファイルが保存されているフォルダーです。

MUSIC(M):

音楽ファイル (MP3、WMA 形式）などコンピューターから転送するファイルを保存するフォルダーです。

- PLAYLIST1 ～ 5(P1 ～ 5)
  あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル（P1 ～ 5) が用意されています。
  MUSIC フォルダー内のファイルを各プレイリストに登録することで、お好きな順番で再生できます。

RECYCLE(🗑):

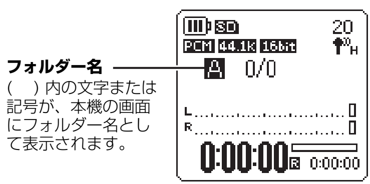
ごみ箱フォルダーです。

DATA:

データ保存用のフォルダーです。本機を USB フラッシュメモリーとして使うことができます。（本機からは見えません。コンピューターに接続したときに確認できます）

MANUAL:

PDF 形式の本取扱説明書が保存されているフォルダーです。（本機からは見えません。コンピューターに接続したときに確認できます）
本機内蔵メモリーをフォーマットするとフォルダーごと消去されます。必要に応じて最新の PDF 形式の取扱説明書を、以下のウェブサイトからダウンロードしてください。
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan



■ファイル名について

本機で録音したファイルには、下記の規則で自動的に名前がつきます。
本機では ❶ のファイル番号や ❷ のフォルダーの種類は表示されません。コンピューターに接続したときに確認できます。

001A_091121_1200.MP3
❶ ❷ ❸ ❹ ❺

❶ ファイル番号（001 ～ 199）

❷ フォルダーの種類（A ～ D：MIC A ～ D フォルダー、L：LINE フォルダー）

❸ 録音年月日（年、月、日）

❹ 録音時間（時、分）

❺ ファイル形式（MP3：MP3 録音、WAV：PCM 録音）

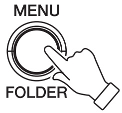
■メモリー

本機では、本機内蔵メモリーのほかに、microSD カードを録音 / 再生用メディアとして使うことができます。
メモリー内でどのフォルダーを使うか、各フォルダーにいくつファイルを入れるかは、メモリーの最大録音時間、最大ファイル数を超えない限り、自由にお使いいただけます。

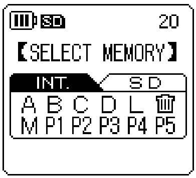
■メモリーやフォルダーの切り換え

・ メモリーの切り換え

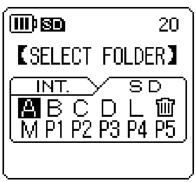
1. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。



2. [PLAY] ボタンを押します。

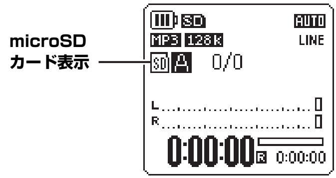


3. [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、INT.(内蔵メモリー) または SD(microSD カード) を選び、[REC] ボタンを押します。



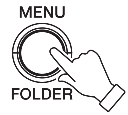
選択したメディアの [SELECT FOLDER](フォルダー選択) 画面に戻りカーソルが A フォルダーに移動します。
続いてフォルダーを選択してください。

SD(microSD カード) を選択した場合は、SDがフォルダー名の左横に表示されます。

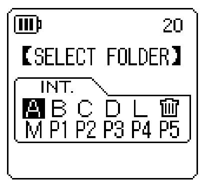


・ フォルダーの切り換え

1. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。



2. [PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、切り換えたいフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。



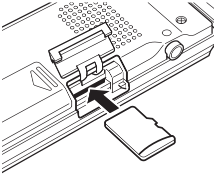
選択したフォルダーに切り換わります。
A ～ L、🗑を選択した場合は、基本画面に戻ります。M、P1 ～ P5 を選択した場合は、ファイル一覧画面に切り換わります。

microSD カードを入れる

本機は、内蔵メモリー（2GB) のほかに市販の microSD カードを録音 / 再生用のメモリーとして使用できます。市販の microSD カードを本機ではじめて使う場合は、初期化（フォーマット）が必要です (84 ページ)。

1. 本機の電源を切り、microSD カードスロットのカバーを開けます。

2. 図の向きにカチッという音がするまで、まっすぐに差し込みます。



3. microSD カードスロットのカバーを閉じます。

4. 電源を入れます。
画面に SD が表示されます。

Note：

- microSD カードを入れても認識しない場合は、いったんカードを取り出し、再度差し込んでください。
- コンピューターなど他の機器でフォーマットした microSD カードは認識しない場合があります。
必ず本機でフォーマットしてください (84 ページ)。

カードを取り出すときは、カバーを開け、カードを軽く押し込みます。カードが少し飛び出しますので、ゆっくりと引き抜いてください。

microSD カードについて

microSD カードをお使いになる場合は、1GB ～ 2GB の microSD カード、および 4GB ～ 16GB の microSDHC カードをお選びください (2009 年 10 月現在)。ただし、カードの製造元や種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
microSD カードについて詳しくは、下記のヤマハ ホームページでご確認ください。
http://www.yamahasynth.com/jp/

ご使用時の注意

- microSD カードを本機に正しく取り付けていないと、microSD カードへの録音 / 再生ができません。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。
- 本体の電源を入れたまま microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障や内部データ消失の原因になります。
- microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがあるので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。

録音に関する基礎知識

本機では ALC(オートレベルコントロール)、録音モード、マイク感度、録音ピークリミッターなどの機能を設定して、より良い音質で録音できます。その他の機能は応用編「第 3 章　録音に関する設定」(41 ページ) をご覧ください。

■ALC(オートレベルコントロール) について

ALC は音量に応じて自動的に録音レベルを調整することで､音量を一定に近づけて録音する機能です。

	ALC OFF (オフ)	ALC ON (オン)
特長	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音ができます。	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく調整されます。音割れやゆがみを抑え、聞き取りに適した音声録音ができます。
主な使用場面	楽器演奏、自然の音などの録音	楽器練習、会議、インタビューなどの録音

■録音モード

本機は MP3 形式または PCM(WAV) 形式で録音できます。たとえば、楽器演奏の録音は音質の良い PCM 44.1kHz/16bit を、楽器練習や会議の録音はデータ容量を抑えられる MP3 128kbps を選択するとよいでしょう。また、さらに良い音質で録音したい場合は、PCM 96kHz を選択するとよいでしょう。

Hint :

- PCM は音声データを非圧縮で記録し、MP3 は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズが大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。音質を優先するか、録音時間を優先するかを考え、目的に合った録音モードをお選びください。
- 音楽 CD を作成する場合は、PCM 44.1kHz/16bit に設定します。

録音モード別の使用例一覧

<table>
<tr><th>録音形式</th><th>サンプリング周波数、ビット数、ビットレート</th><th>ファイル拡張子</th><th>使用例</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="4">PCM</td><td>96kHz/16bit, 24bit</td><td rowspan="4">.WAV</td><td rowspan="4">楽器演奏、レコーディング、CD 作成などの原音録音</td><td rowspan="6">高音質
↑</td></tr>
<tr><td>88.2kHz /16bit, 24bit</td></tr>
<tr><td>48kHz/16bit, 24bit</td></tr>
<tr><td>44.1kHz/16bit, 24bit</td></tr>
<tr><td rowspan="5">MP3</td><td>320kbps</td><td rowspan="5">.MP3</td><td rowspan="3">楽器練習や会議記録などの容量を抑えた高音質の録音</td></tr>
<tr><td>192kbps</td></tr>
<tr><td>128kbps</td><td>標準音質</td></tr>
<tr><td>64kbps</td><td rowspan="2">音質より長時間録音が目的の録音
(32kbps はモノラル録音です)</td><td rowspan="2">↓
長時間録音</td></tr>
<tr><td>32kbps</td></tr>
</table>

■録音可能時間の目安 (内蔵メモリー (2GB) を使った場合)

録音モード			録音可能時間（目安）
PCM	24bit	96kHz	約 55 分
		88.2kHz	約 1 時間
		48kHz	約 1 時間 50 分
		44.1kHz	約 2 時間
	16bit	96kHz	約 1 時間 25 分
		88.2kHz	約 1 時間 30 分
		48kHz	約 2 時間 50 分
		44.1kHz	約 3 時間

録音モード		録音可能時間（目安）
MP3	320kbps	約　13 時間 30 分
	192kbps	約　22 時間 30 分
	128kbps	約　34 時間
	64kbps	約　68 時間
	32kbps	約 136 時間

＊ 録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間は表中の時間より短くなります。
＊ お買い上げ時は内蔵メモリーに PDF 形式の取扱説明書が保存されていますので、録音可能時間は表中の時間より短くなります。
＊ 1 ファイルあたりの最長録音可能時間（連続録音時）は上記 2GB 相当の時間です。2GB 相当の録音可能時間に達した場合は、約 2 秒後に自動的に次のファイルへの録音を始めます。ただし電池の持続時間を超えて連続録音できません。

■マイク感度

録音状況に応じて、マイクの感度を切り換えることができます。
録音した音声が小さい場合や大きすぎる場合はマイク感度を切り換えて調整します。

マイク感度の設定（42 ページ）

基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [MIC SENS] → [HIGH](高) または [LOW](低) を選択します。音量が小さい場合は [HIGH](高) に、音量が大きい場合は [LOW] (低) を選択してください。

■録音ピークリミッター

録音ピークリミッターをオンに設定することにより、過大入力時の音の歪みを抑えることができます。通常はオンに設定して録音することをおすすめします。

録音ピークリミッターの設定（46 ページ）

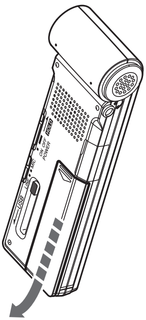
基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [REC LIMITER] → [ON] を選択します。録音ピークリミッターは、ALC がオフに設定されているときのみ機能します。

入門編

カンタン操作ガイド

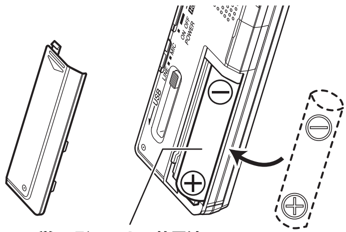
1. 電池を入れる

1. 電池ぶたを開けます。



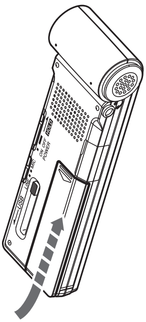
2. アルカリ乾電池（付属）を入れます。

Note：
- 電池の＋、－の向きに注意して入れてください。
- 単４形ニッケル水素電池もお使いいただけます。ただし本体でニッケル水素電池の充電はできません。



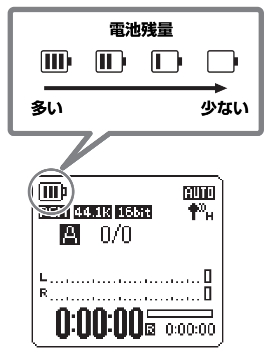
単４形アルカリ乾電池 ×1
（または単４形ニッケル水素電池 ×1）

3. 電池ぶたを閉めます。



電池の残量

電池残量が少なくなると “LOW BATTERY!” と表示されますので、新しい電池に交換してください。



電池の持続時間
（アルカリ電池を使って内蔵メモリーに録音した場合）

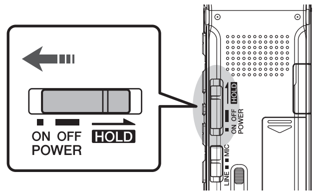
PCM 96kHz, 24bit	7 時間
PCM 44.1kHz, 16bit	16 時間
MP3 64kbps	26 時間

＊ 上記はいずれも LED オフ、バックライト オフ、録音モニターなし、ALC オン時の場合です。
＊ 電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。

2. 電源を入れる / 切る

電源を入れる

[POWER](電源) スイッチを矢印の方向にスライドさせます。

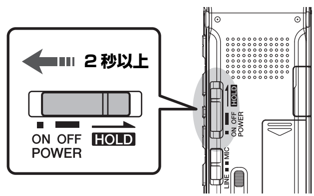


Note：

- 電源が入った状態で設定した時間放置すると、自動的に電源が切れます（お買い上げ時は「15min(分)」に設定されています）（91 ページ）。
- 初めて本機に電源を入れたときは、カレンダーを設定してください（28 ページ）。
- 本機に大容量（16GB など）の microSD カードが入っている場合は、起動までに時間がかかります。

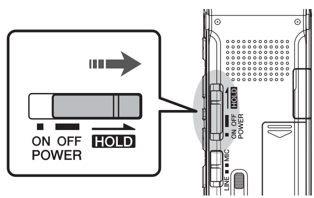
電源を切る

[POWER](電源) スイッチを矢印の方向に 2 秒以上スライドさせます。



誤動作を防止する (HOLD)

[POWER](電源) スイッチを HOLD 側にすると“HOLD ON”（ホールド設定）が表示され、各ボタンが機能しなくなります。
[POWER](電源) スイッチを戻すと “HOLD OFF” (ホールド解除）が表示され、HOLD 機能が解除されます。

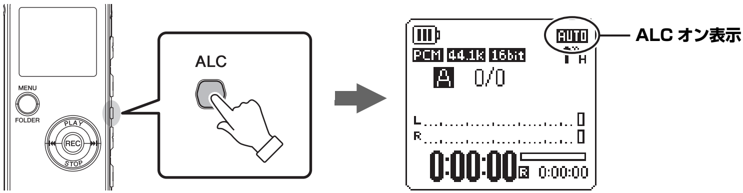


3. 録音する

録音する前の準備については、「録音に関する基礎知識」（16 ページ）をご覧ください。また、楽器演奏や外部マイクを使った録音などについては、応用編「第 2 章　録音する」（35 ページ）をご覧ください。

録音する

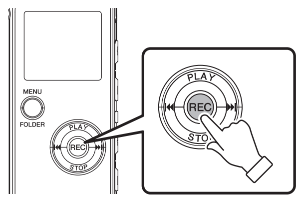
1. [ALC/DELETE] ボタンを押して、画面右上に AUTO を表示させます。



ALC がオンに設定されます。

Note：
ALC(Auto Level Control) とは、録音中のマイク入力音量に応じて録音レベルを自動的に調整する機能のことです。

2. [REC](録音) ボタンを押します。
REC LED が赤色に点灯し、録音が始まります。

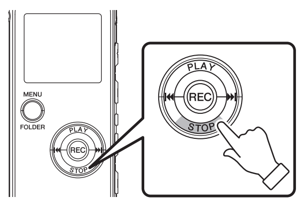


録音を一時停止する

録音中に [REC] ボタンを押します。
もう一度、[REC] ボタンを押すと、録音を再開します。

録音を停止する

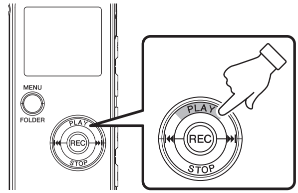
[STOP](停止) ボタンを押します。



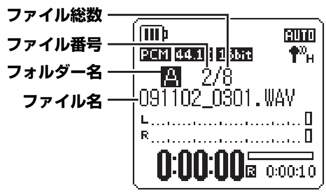
4. 再生する

再生する

[PLAY](再生) ボタンを押します。
再生が始まります。

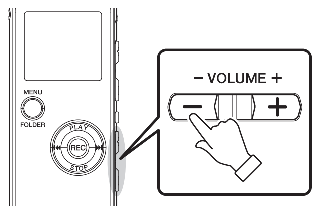


Note :
停止中に [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押すと、フォルダー（12 ページ）内のファイルを選択できます。



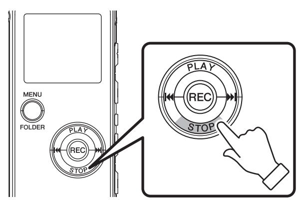
音量を調節する

[VOLUME](音量) ＋ / －ボタンを押します。



再生を停止する

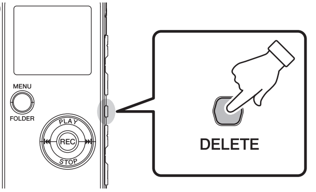
[STOP](停止) ボタンを押します。
もう一度 [PLAY] ボタンを押すと、停止した位置から再生が始まります。



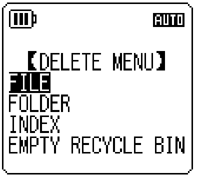
5. 消去する

ファイルを消去する

1. 消去するファイルを選択し（23 ページ）、側面にある [ALC/DELETE] ボタンを 2 秒以上押します。



2. [DELETE MENU](消去メニュー）画面が表示されたら、[FILE](ファイル）が選ばれていることを確認し、[REC] ボタンを押します。



3. [DELETE FILE](ファイル消去）画面が表示されたら、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、[DELETE](消去）を選び、[REC] ボタンを押します。
[DELETING...](消去実行中 ...) が表示され、ファイルが消去されます。
ごみ箱機能をオンにしている場合は（お買い上げ時）、ファイルがごみ箱に移動します（23 ページ）。「MOVED TO RECYCLE BIN](ごみ箱に移しました）と表示されますので、[REC] ボタンを押して、基本画面に戻ります。



Note :
フォルダーごと消去する場合は、手順 2 で [FOLDER](フォルダー) を選択してください。

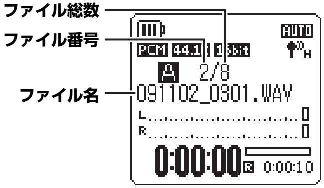
フォルダーやファイルを選択する

1. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。

2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンを押して、消去するファイルのあるフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

Note：
フォルダーについて詳しくは、「ファイル / フォルダー / メモリーについて」（12 ページ）をご覧ください。

3. [⏮]/[⏭] ボタンで消去するファイルを選びます。



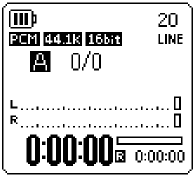
■ ごみ箱機能について

ごみ箱機能がオンのときに本機で消去したファイルは、一時的にごみ箱（🗑）フォルダーに移動し、必要なときに元に戻すことができるので、間違って消去した場合でも安心です。
お買い上げ時には、ごみ箱機能がオンに設定されています。

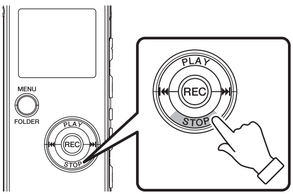
- ごみ箱フォルダーの最大ファイル数は 199 です。それ以上のファイルは削除できないため、ごみ箱フォルダー内のファイルを元のフォルダーに戻すか（80 ページ）、ごみ箱フォルダーを空にしてください。
- **ごみ箱フォルダーを空にしないと記憶容量が増えません。メモリーの記憶容量がない場合は、次の録音ができない状態になりますので、定期的にごみ箱を空にしてください（81 ページ）。**
- **M フォルダーのファイルはごみ箱機能設定がオン / オフにかかわらず、ごみ箱フォルダーに移動しません。本機から完全に消去されます。**

画面について

[基本画面]



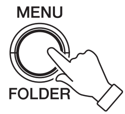
電源をオンにすると表示されます。

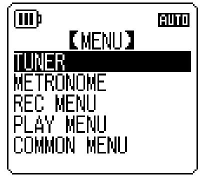


基本画面で [STOP] ボタンを押すごとに、表示画面が以下の順番で切り換わります (再生対象ファイルがある場合)。

- **A ～ D フォルダーが選択されている場合：**
  基本画面→ [REC DATE & TIME](録音日時）→ [REC REMAIN TIME](録音残時間）→ [DATE & TIME](現時刻）→ [TOTAL TIME](再生総時間）→基本画面
- **M フォルダーが選択されている場合：**
  基本画面→ [DATE & TIME](現時刻) → [TOTAL TIME](再生総時間) →基本画面

[メニュー画面]





基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押すと表示されます。
録音モードの変更、日時の設定、初期化などの各種設定ができます。詳しくは、25 ～ 28 ページをご覧ください。

Note：
[MENU/FOLDER] ボタンを再度押すと、基本画面に戻ります。

設定メニューについて

設定メニュー一覧

設定メニューは [TUNER](チューナー)、[METRONOME](メトロノーム)、[REC MENU](録音設定)、[PLAY MENU](再生設定)、[COMMON MENU](共通設定)、[EDIT MENU](編集設定) の 6 つの項目に分類されています。

[TUNER]（チューナー）

設定項目	設定内容	参照ページ
[START]（開始）	チューナーによるピッチの測定を開始します。	65
[CALIBRATE]（周波数設定）	基準となるピッチ (周波数）を設定します。	66

[METRONOME]（メトロノーム）

設定項目	設定内容	参照ページ
[START]（開始）	メトロノームを開始します。	67
[TEMPO]（テンポ設定）	メトロノームの速さを設定します。	67
[BEAT]（拍子設定）	メトロノームのパターンを設定します。	68
[RECORD]（録音設定）	録音時のメトロノーム音を設定します。	68

[REC MENU]（録音設定）

設定項目	設定内容	参照ページ
[REC MODE]（録音モード）	録音音質を設定します。	41
[MIC SENS]（マイク感度）	マイク感度の高 / 低を設定します。	42
[HPF]（ハイパスフィルター）	ハイパス (ローカット）フィルターのオン / オフを設定します。	46
[REC LIMITER]（録音ピークリミッター）	録音ピークリミッターのオン / オフを設定します。	46
[REC PEAK HOLD]（録音ピークホールド）	録音ピークホールドの時間を設定します。	47
[EXTERNAL MIC]（外部録音）	外部入力端子に入力するソースを選択します。	38
[AUTO DIVIDE]（自動無音分割）	録音中の無音状態が続くと自動的にファイルを分割する設定をします。	50
[SELF TIMER]（セルフタイマー録音）	セルフタイマー時間を設定します。	51
[VAS]（VAS 設定）	音声起動録音のオン / オフを設定します。	48

[PLAY MENU] (再生設定)

設定項目	設定内容	参照ページ
[TIME SEARCH] (時間指定サーチ)	時間を指定した位置から再生を始めます。	61
[REPEAT] (リピート設定)	リピートモードを設定します。	60
[PHRASE PLAY] (フレーズ再生)	フレーズ再生 (設定した秒数を戻して再生する) 時間を設定します。	59
[SKIP PLAY] (スキップ再生)	スキップ再生 (設定した時間をスキップして再生する) 時間を設定します。	57
[SOUND EQ] (サウンド EQ)	音質補正を設定します。	63

[COMMON MENU] (共通設定)

設定項目	設定内容	参照ページ
[BEEP SOUND] (ビープ音設定)	ビープ音を設定します。	90
[REC LED] (録音 LED)	録音 LED を設定します。	52
[DATE & TIME] (カレンダー設定)	カレンダー（日付と時刻）を設定します。	89
[TIMER & ALARM] (タイマー設定)	予約録音、予約再生（アラーム）を設定します。	85
[AUTO OFF] (オートパワーオフ)	オートパワーオフ機能を設定します。	91
[BACKLIGHT] (バックライト)	画面のバックライトを設定します。	91
[CONTRAST] (コントラスト)	画面のコントラストを調整します。	92
[RECYCLE BIN] (ごみ箱)	ごみ箱機能のオン / オフを設定します。	78
[FORMAT] (フォーマット)	内蔵メモリーや microSD カードを初期化します (全データを消去します)。	84
[MENU RESET] (メニュー初期化)	メニュー設定を初期化します。	93
[VERSION] (バージョン)	ファームウェアのバージョン情報を表示します。	93

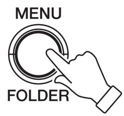
[EDIT MENU] (編集設定)

設定項目	設定内容	参照ページ
[DIVIDE] (ファイル分割)	指定の位置で 1 ファイルを 2 つに分割します。	69
[FADE IN] (フェードイン)	録音したファイルにフェードイン効果を追加します。	71
[FADE OUT] (フェードアウト)	録音したファイルにフェードアウト効果を追加します。	72

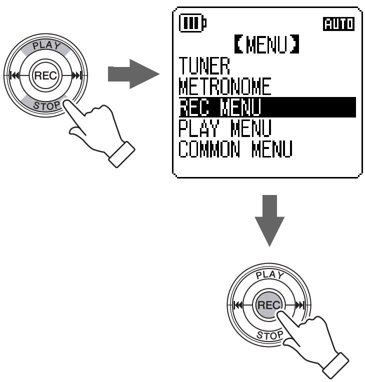
メニューの設定方法

ここでは、録音モードを MP3 128kbps に変更する場合を例にして、メニューの設定方法を説明します。

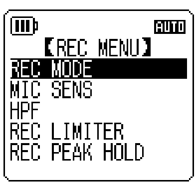
1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押します。



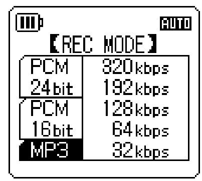
2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [REC MENU] を選び、[REC] ボタンを押します。



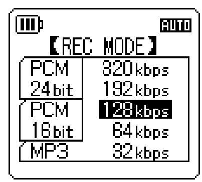
3. [REC MODE]（録音モード）が選ばれていることを確認し、[REC] ボタンを押します。



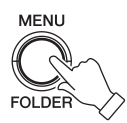
4. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンを押して [MP3] を選び、[REC] ボタンを押します。



5. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [128kbps] を選び、[REC] ボタンを押します。

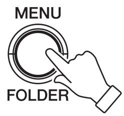


6. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

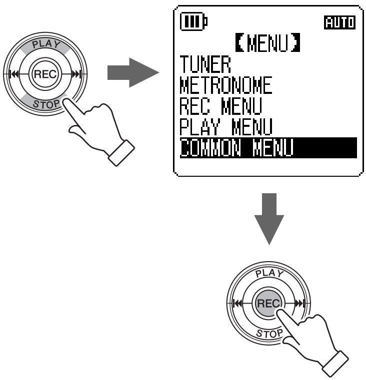


カレンダーを設定する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押します。



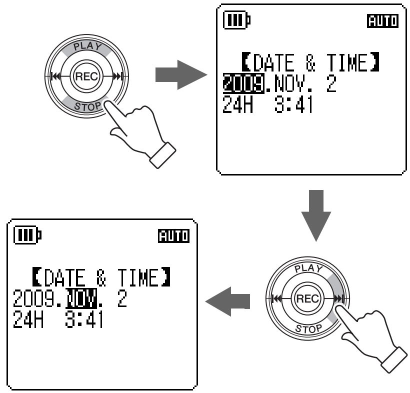
2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [COMMON MENU] を選び、[REC] ボタンを押します。



3. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [DATE & TIME] を選び、[REC] ボタンを押します。



4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して西暦を変更し、[▶▶|] ボタンを押します。



5. 同様に月、日、24/12 時間表示切換 (24H, AM/PM)、時、分を設定し、[REC] ボタンを押します。
カレンダーが設定されます。

6. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

コンピューターに接続して使う

本機をコンピューターに接続して、本機で録音した音声ファイルをコンピューターに取り込むことができます。取り込んだファイルは Windows Media Player や iTunes などを使って CD にコピーしたり、付属の DAW ソフトウェア「Cubase AI」を使って編集したりすることができます。また、コンピューターで作成した音楽ファイルを、本機に転送し再生することもできます。

コンピューターの動作環境

■ Windows

コンピューター本体：USB 端子を標準装備した Windows 対応コンピューター
対応 OS：Windows 7, Vista, XP Professional/Home Edition

■ Macintosh

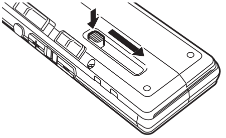
コンピューター本体：USB 端子を標準装備した Macintosh コンピューター
対応 OS：Mac OS X 10.4, 10.5, 10.6

Note：

- コンピューターの動作環境および付属のソフトウェアについては、下記の URL に最新情報が掲載されています。
  <http://www.yamahasynth.com/jp/>
- お使いの OS やバージョンにより画面、メニュー名、ボタン名などが異なる場合があります。また本書の説明では Windows XP/Windows Media Player 11 を使用しています。

コンピューターに接続する

1. USB 端子を本機から出します。



2. 本機の電源がオフになっていることを確認し、USB 端子をコンピューターに接続します。

コンピューターに何も表示されない場合は、以下の手順で確認を行なってください。

・ 起動中のアプリケーションはすべて終了させる。
・ 接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウスやキーボードは除く）はすべて取り外して、本機だけを接続する。
・ コンピューターに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に本機を接続する。
・ バスパワー型 USB ハブを介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してコンピューターの USB 端子に直接本機を接続する。

USB 端子ご使用時の注意

USB 端子とコンピューターを接続するときは、以下のことを行なってください。
以下のことを行なわないと、コンピューターや本機が停止 (ハングアップ) して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本機が停止したときは、Windows Media Player などのアプリケーションやコンピューターを再起動してください。

- **データの転送中は、絶対に USB 端子を抜かないでください。**
- **USB 端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力 (サスペンド / スリープ / スタンバイ / 休止) モードを解除してください。**
- **USB 端子の抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了させてください。**

自動再生画面について

本機接続時に、[自動再生] 画面が表示された場合、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択し [OK] をクリックすると、本機のフォルダーを表示されます。



録音した音声ファイルをコンピューターに取り込む

Windows:

1. 本機をコンピューターに接続します。
2. [スタート] メニューから [マイ コンピュータ] を開きます。
3. [PRC24] または [PRC24SD] をダブルクリックして開きます。
4. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダーをダブルクリックして開きます。
5. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

Macintosh:

1. 本機をコンピューターに接続します。
2. デスクトップに表示される本機のドライブアイコン[PRC24]または[PRC24SD]をダブルクリックして開きます。
3. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダーをダブルクリックして開きます。
4. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

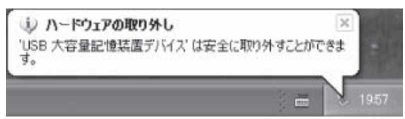
コンピューターから音声ファイルを本機に転送するには

「録音した音声ファイルをコンピューターに取り込む」の手順 4（Macintosh は手順 3）で、転送したい MP3、WMA などの音声ファイルを、[MUSIC] フォルダーにドラッグします。MUSIC(M) フォルダーは音楽ファイルなどコンピューターから転送するファイルを保存するフォルダーです。
MIC(A ～ D) フォルダーや LINE(L) フォルダーに転送する場合は、ファイル名規則（13 ページ）にしたがって、ファイル名を変更してください。ファイル名規則にしたがっていないファイルは MUSIC(M) フォルダー以外では再生できません。

コンピューターから取り外す

Windows:

1. 画面右下のタスクバーの  をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します] をクリックします。
2. 右のメッセージが表示されたら、本機をコンピューターから取り外します。



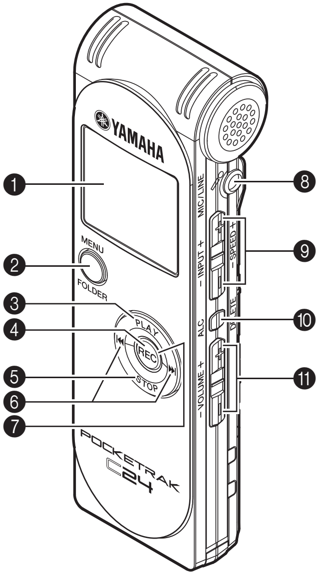
Macintosh:

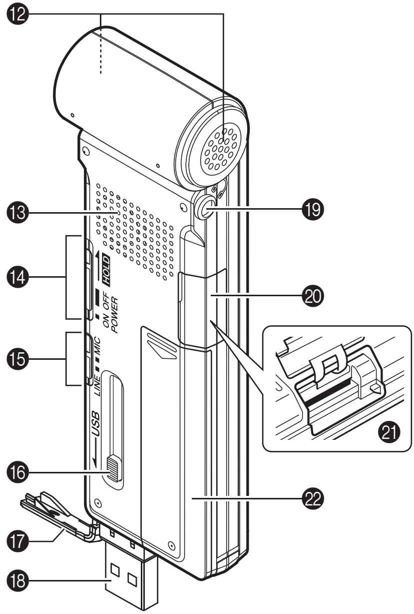
1. デスクトップに表示されている本機のドライブアイコン [PRC24] または [PRC24SD] を、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動します。
2. デスクトップから本機のドライブアイコン [PRC24] または [PRC24SD] が消えたら、本機をコンピューターから取り外します。

応用編

第 1 章　各部の名称と機能

本体





❶ **液晶ディスプレイ**

❷ **MENU/FOLDER ボタン**

基本画面で押すと、メニュー画面を表示します。また、基本画面で 2 秒以上押すと、フォルダー選択画面を表示します。
メニュー操作中やフォルダー選択画面を表示中は、1 つ前の操作に戻ります。

❸ **PLAY ボタン**

ファイルを再生します。メニュー操作中は、一つ上の項目へカーソルを移動します。

❹ **REC ボタン**

録音を開始、一時停止します。
メニュー操作中は、選択した内容を決定して、次の画面に移動します。

❺ **STOP ボタン**
録音や再生を停止します。メニュー操作中は、一つ下の項目へカーソルを移動します。停止中に押すと、画面表示が切り替わります。

❻ **⏮/⏭ (早戻し / 早送り) ボタン**
再生中はファイルの早戻し、早送り、ファイルの頭出しをします。停止中は、フォルダー内のファイルを選択します。メニュー操作中は、右 (または左) の項目や一つ上 (または下) の階層へ移動します。

❼ **LED ランプ**
録音中は赤く点灯し、過大入力時や録音スタンバイ時は赤く点滅します（お買い上げ時）。

❽ **MIC LINE 端子**
マイク / ライン入力共通の外部入力端子です。

☞ **外部マイクを使って録音する（38 ページ）**
☞ **外部機器（CD プレーヤーなど）から録音する（39 ページ）**

❾ **INPUT/SPEED (+ / −) ボタン**
録音レベルや再生スピードを調整します。

❿ **ALC/DELETE ボタン**
基本画面で押すと、ALC（オートレベルコントロール）のオン / オフを切り換えます。
基本画面で 2 秒以上押すと、ファイル、フォルダー、インデックスを消去します。
また、ごみ箱フォルダー選択中は、ごみ箱メニューを呼び出します。
録音中や再生中に押すと、インデックス（頭出し）マークを付けることができます。

☞ **ALC（オートレベルコントロール）のオン / オフを切り換える（42 ページ）**
☞ **第 9 章　消去する（78 ページ）**
☞ **インデックスを付ける / 消去する(73 ページ)**

⓫ **VOLUME (+ / −) ボタン**
スピーカーやヘッドフォンから出力される音量を調整します。

⓬ **内蔵ステレオマイク**

⓭ **スピーカー**

⓮ **POWER/HOLD スイッチ**
電源をオン / オフします。電源オンのときはスライド、電源オフのときは 2 秒以上スライドします。
スイッチを HOLD 側にすると、ホールド（誤動作防止）が機能します。

⓯ **MIC/LINE 切り換えスイッチ**
マイク録音とライン (外部入力) 録音を切り換えます。

⓰ **USB 端子スライドスイッチ**
USB 端子を使用するときにスライドさせ、USB 端子を本機から出します。

⓱ **USB 端子カバー**
カバーを開けると、USB 端子があります。使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

⓲ **USB 端子**
コンピューターに接続するときに使用します。

⓳ **ヘッドフォン端子**
ステレオミニプラグ端子のインナーイヤー型ヘッドフォンなどを接続します。

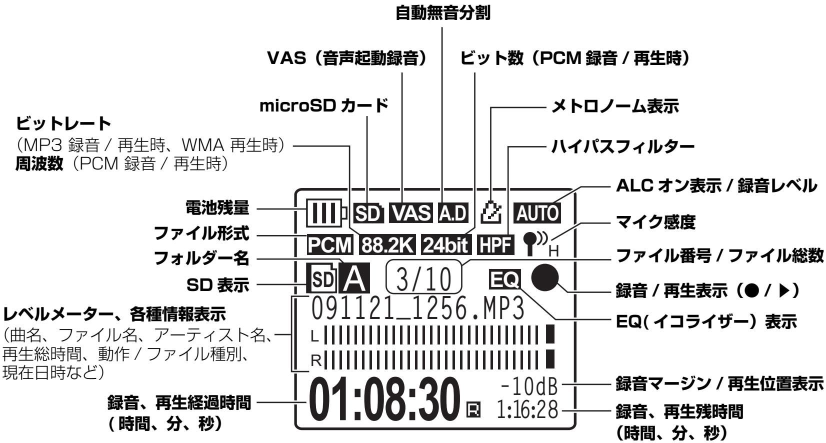
⓴ **microSD カードスロットカバー**
カバーを開けると、microSD カードスロットがあります。使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

㉑ **microSD カードスロット**
録音や再生に microSD カードを使用するときに microSD カードを入れます。

㉒ **電池ぶた**

液晶ディスプレイ

すべての画面や項目を一度に表示することはできません。



知っておくと便利な知識

- **リニア PCM (Pulse Code Modulation) 録音とは**
  アナログ信号である音声を一定の周期でサンプリングし、デジタル信号として圧縮せずに保存する録音方式のことです。
  音楽 CD（CD-DA：CD Digital Audio）は、PCM（サンプリング周波数 44.1kHz、量子化 16 ビット、ビットレート 1411kbps、周波数特性 20 ～ 20,000Hz）で録音されています。PCM 録音は、デジタルデータで記録された音声に何の加工も加えないため、音質が最も優れています。
  PCM 録音されたデータをコンピューターで取り込む形式を「WAVE」などと呼び、データ拡張子は「.WAV」です。MP3、WMA などの形式は、このリニア PCM を圧縮したものです。
- **録音マージンとは**
  直近の入力音量の最大値から 0dB までの余裕（マージン）（単位 dB）のことです。

録音前の準備については入門編をご覧ください。

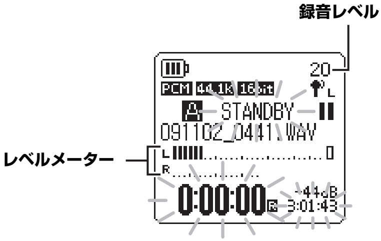
☞ **録音に関する基礎知識（16 ページ）**

楽器演奏を録音する

録音を開始する前に、画面に録音レベルが表示されている（ALC がオフに設定されている）ことを確認します（42 ページ）。また、[MIC SENS] (マイク感度) を [LOW](低) に設定します（42 ページ）。

1. 内蔵ステレオマイクを音源に向けて、[REC] ボタンを押します。
「STANDBY」(録音スタンバイ) 状態になります。LED（赤）がゆっくり点滅します。
（この状態では録音はまだ始まっていません。）

Note：
マイクに入る音の大きさに応じて、レベルメーターが左右に振れます。



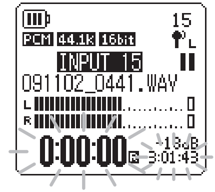
2. 側面にある [INPUT/SPEED](＋ / －) ボタンを押して、INPUT(録音レベル) を調整します。
マイクに向かって実際に録音する音を鳴らしながら、録音レベルを調整してください。

Hint：
録音ピークリミッターの設定
録音ピークリミッターをオンに設定することにより、過大入力時の音の歪みを抑えることができます。
通常はオンに設定して録音することをおすすめします（46 ページ）。ただし、録音レベルを調整するときは（36 ページ）、録音ピークリミッターをオフに設定してください。

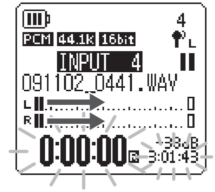
■ 録音レベルの調整のしかた

録音レベルは 0 ～ 40 の範囲で設定できます。録音レベル 0 の場合は、無音が録音されます。

- **適切な録音レベル**
  録音する音が最も大きくなるときに、レベルメーターが右に振り切れない (録音中に LED が速く点滅しない) 範囲でできるだけ大きなレベルに調整します。

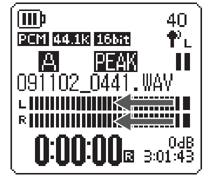


- **録音レベルが小さすぎる場合**
  [INPUT/SPEED](＋) ボタンを押して、レベルメーターが右に振れるように調整してください。



Note：
録音レベルを 40 まで上げても適切な録音レベルにならない場合は、[MIC SENS]（マイク感度）を [HIGH]（高）に設定してください（42 ページ）。

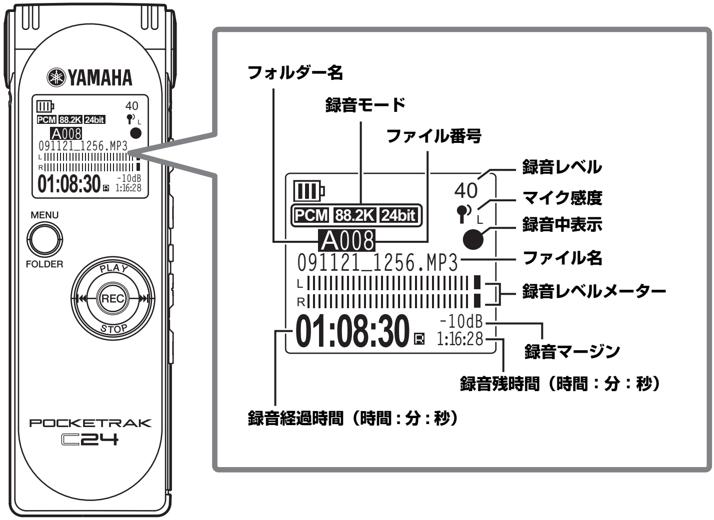
- **録音レベルが大きすぎる場合**
  レベルメーターが右いっぱいに振れ、録音中に LED が速く点滅し、PEAK が表示されます。
  [INPUT/SPEED](－) ボタンを押して、録音レベルを下げてください。



3. もう一度 [REC] ボタンを押します。
LED（赤）が点灯し、録音が始まります。

Hint：
録音中、ヘッドフォンから録音している音声をモニターすることができます。

録音中の表示



Hint：

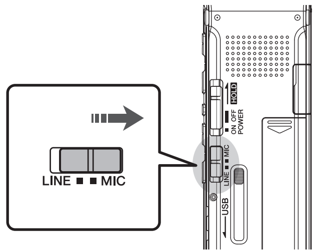
録音マージン：直近の入力音量の最大値が 0dB まであと何 dB 余裕があるかを表示します。

4. [STOP] ボタンを押して、録音を停止します。
LED が消灯し、基本画面に戻ります。

外部マイクを使って録音する

本機では内蔵ステレオマイクを使う以外に、外部マイクを使って録音することができます。外部マイクはステレオパワード、モノラルパワード、ステレオダイナミック、モノラルダイナミックの４種類のマイクを使うことができます。下記の方法で、それぞれの種類に合ったマイク設定を行なってください。

1. MIC/LINE 切り換えスイッチを「MIC」側にスライドします。
外部録音設定が外部マイク入力に設定され、画面右上の表示が になります。

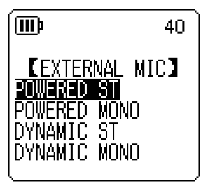


2. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで、[REC MENU] を選び、[REC] ボタンを押します。

3. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、[EXTERNAL MIC](外部マイク入力) を選び、[REC] ボタンを押します。



4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、接続するマイクの種類を [POWERED ST](ステレオパワード）/[POWERED MONO](モノラルパワード）/[DYNAMIC ST](ステレオダイナミック）/[DYNAMIC MONO](モノラルダイナミック）から選び、[REC] ボタンを押します。
[MENU/FOLDER] ボタンを２回押して、基本画面に戻ります。



5. マイクを本機右側面の MIC/LINE 端子に接続し、音源に向けます。

6. 本機の [REC] ボタンを押します。
録音が始まります。
ALC がオフ設定の場合はスタンバイ状態になりますので、再度 [REC] ボタンを押してください。

市販の外部マイクを使用する場合は、下記仕様のマイクをおすすめします。
下記仕様のマイクを使用する場合は、マイクの種類は上記の手順 4 で [POWERED ST](ステレオパワード）または [POWERED MONO](モノラルパワード）を選択してください。

形式	エレクトレットコンデンサー / プラグインパワー方式
インピーダンス	2kΩ
電源	1.3V にて動作保証品
プラグ	ミニプラグ (φ3.5mm)

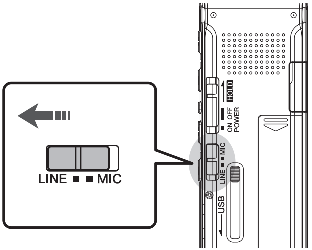
Note：
外部マイクを取り外すと、内蔵マイクでの録音設定に自動的に切り換わります。

外部機器（CD プレーヤーなど）から録音する

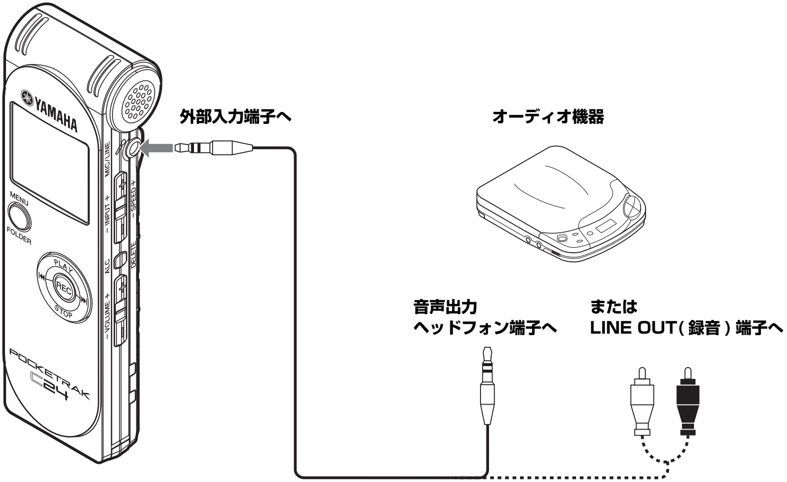
本機では、CD プレーヤー、MD プレーヤーなどの外部機器からのライン入力を録音することができます。

1. 基本画面で MIC/LINE 切り換えスイッチを「LINE」側にスライドします。
外部録音設定がライン入力に設定され、画面右上の表示が「LINE」になります。

Note：
- 録音モードを切り換える場合は、41 ページをご覧ください。
- MP3 形式で録音するときのみ便利な自動分割機能が使えます(50 ページ)。



2. 本機の [MIC/LINE] 端子と外部機器の音声出力端子を接続します。
市販のオーディオケーブル（ステレオミニプラグ：φ3.5mm、抵抗なし）を使用してください。



3. 外部機器で録音する音源を再生しながら、外部機器の音量を調整します。

Hint：
事前に試し録音を行なって、適切なレベルで録音されることを確認することをおすすめします。

4. 外部機器の音源を再生し、本機の [REC] ボタンを押します。
録音が始まります。

Note：
- 自動的に LINE(L) フォルダーに録音されます。
- ライン入力で外部機器から音声を録音中は、スピーカーから音が出ません。録音中の音声を聞く場合は、ヘッドフォンを使用してください。

5. [STOP] ボタンを押して、録音を停止します。
外部機器の再生を止めてください。

録音モード (音質) を変える

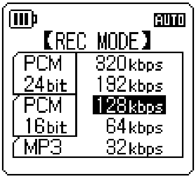
本機では録音時の音質を PCM(WAV) 形式と MP3 形式から選ぶことができます。PCM は音声データをすべて非圧縮で記録し、MP3 は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズは大きくなり、録音できる時間はそれだけ短くなります。

録音モードを変更する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [REC MENU] を選び、[REC] ボタンを押します。
2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、[REC MODE]（録音モード）を選び、[REC] ボタンを押します。



3. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンを押して、[PCM 24bit][PCM 16bit][MP3] からお好みの録音形式を選び、[REC] ボタンを押します。
4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、お好みの周波数またはビットレート を選び、[REC] ボタンを押します。

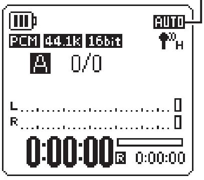


5. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
   基本画面に戻ります。

ALC（オートレベルコントロール）のオン / オフを切り換える

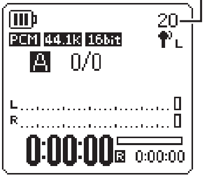
Note：
ALC オン / オフは、A ～ D フォルダーへの音声録音時のみ切り換えできます。

ALC オン



・ **ALC「オン」に設定する**
基本画面で [ALC/DELETE] スイッチを押して、画面右上に AUTO を表示させせます。
入力レベルに応じて、録音レベルが自動的に調整されます。

ALC オフ
（録音レベルが表示されます）



・ **ALC「オフ」に設定する**
基本画面で [ALC/DELETE] スイッチを押して、画面右上に録音レベルを表示させせます。
録音レベルは段階的に設定することができます (36 ページ)。

Note：
・外部機器から録音する場合は (39 ページ)、録音レベルは調整できません。
・録音ピークリミッターは ALC が「オフ」に設定されているときのみ機能します。

MIC SENS (マイク感度) を切り換える

録音状況に応じて、マイクの感度を切り換えることができます。

操作：
基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [MIC SENS] → [HIGH](高）または [LOW](低）を選び、[REC] ボタンを押します。

音量が小さい場合（会議録音など）は [HIGH]、音量が大きい場合（バンド、楽器練習など）は [LOW] を選択してください。

録音時の画面右上のアイコン
MIC SENS [HIGH]（高）の場合：$_{H}$
MIC SENS [LOW]（低）の場合：$_{L}$

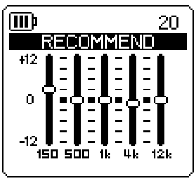
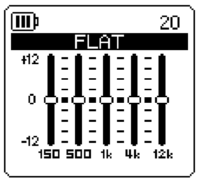
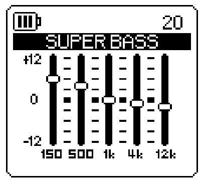
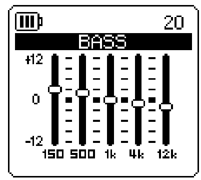
録音 EQ(イコライザー) を設定する

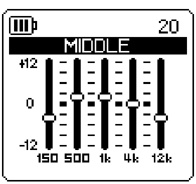
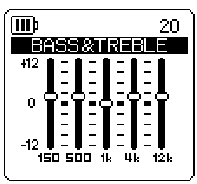
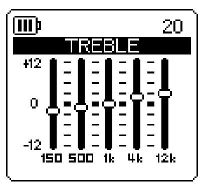
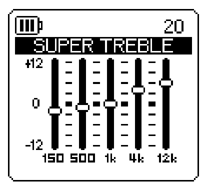
録音 EQ を設定することで、低音域を強調して録音したり、高音域を強調して録音したりして、お好みの音質で録音することができます。
録音 EQ は ALC オフ設定で A 〜 D フォルダーへの音声録音時のみ機能します。

録音 EQ について

あらかじめプリセットされている「RECOMMEND」、「FLAT」、「SUPER BASS」、「BASS」、「MIDDLE」、「BASS&TREBLE」、「TREBLE」、「SUPER TREBLE」の 8 種類の録音 EQ と、5 バンドの補正量を自由に設定できる「USER」から選択できます。

■ プリセット録音 EQ

RECOMMEND	FLAT	SUPER BASS	BASS
			
内蔵マイクでの推奨設定です。	「録音 EQ」機能を使わず、録音します。	低音域をより強調して録音します。	低音域をやや強調して録音します。

MIDDLE	BASS&TREBLE	TREBLE	SUPER TREBLE
			
中音域を強調して録音します。	低音域と高音域をやや強調して録音します。	高音域をやや強調して録音します。	高音域をより強調して録音します。

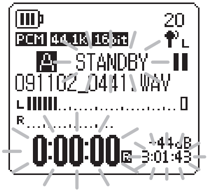
Note :
プリセットされている 8 種類の録音 EQ の設定は変更できません。録音 EQ をお好みの設定に変更したい場合は、「USER」を選択してください。

プリセット録音 EQ を設定する

1. [ALC/DELETE] ボタンを押して、ALC をオフに設定します（42 ページ）。

2. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押し、[PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで録音するフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。
A ～ D フォルダーを選択してください。

3. [REC] ボタンを押します。
「STANDBY」(録音スタンバイ) 画面が表示されます。



4. 「STANDBY」画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押します。
REC MENU(録音設定）画面が表示されます。

5. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、[RECORDING EQ] を選び、[REC] ボタンを押します。
録音 EQ 画面が表示されます。



6. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、お好みの録音 EQ を選択します。
8 つのプリセット録音 EQ と、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。

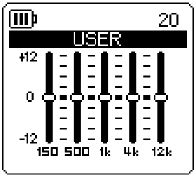
Hint：
- 「USER」を選択した場合の EQ の設定方法は 45 ページをご覧ください。
- 録音 EQ 設定中、途中で操作を中止するときは、[MENU/FOLDER] ボタンを押してください。

7. [REC] ボタンを押します。
選択した録音 EQ が設定されます。[MENU/FOLDER] ボタンを押して「STANDBY」画面に戻ります。録音レベルを調整し、もう一度 [REC] ボタンを押すと、録音が始まります。

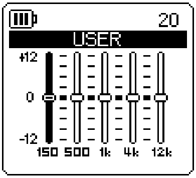
録音 EQ をお好みで設定する

録音 EQ で「USER」を選択すると、録音 EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定できます。

1. 録音 EQ 画面で「USER」を選択します。
「プリセット録音 EQ を設定する」（44 ページ）の手順 1 ～ 5 をご覧ください。



2. [STOP] ボタンを押します。
150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。



3. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、変更したい周波数帯を選びます。
選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、選択した周波数帯の補正量を調整します。
－ 12dB ～＋12dB の範囲を 1dB 単位で調整できます。値が大きいほど録音レベルが大きくなり、その周波数帯が強調されます。

Note：
・他の周波数帯を変更する場合は、手順 3、4 の操作を繰り返してください。
・途中で操作を中止するときは、[MENU/FOLDER] ボタンを押してください。

5. [REC] ボタンを押します。
録音 EQ の「USER」設定が完了します。[MENU/FOLDER] ボタンを押して「STANDBY」画面に戻ります。録音レベルを調整し、もう一度 [REC] ボタンを押すと、録音が始まります。

Note：
録音 EQ の設定は、本機の電源を切ったり、電池交換を行なったりしても保存されます。ただし、電源を切らずに電池交換を行なった場合は、設定は保存されません。

録音ピークリミッターを設定する

録音ピークリミッターを「ON」に設定することにより、過大入力時の音の歪みを抑えることができます。通常は「ON」に設定して録音することをおすすめします。録音ピークリミッターは、ALC が「OFF」に設定されているときのみ機能します。

操作：

基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [REC LIMITER] → [ON] を選び、[REC] ボタンを押します。
録音ピークリミッターを解除するときは、「OFF」を選択してください。



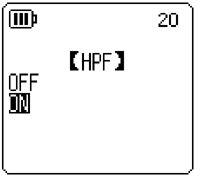
Note：
より自然な音を録音するためには、録音レベルを適切に調整してください（36 ページ）。

ハイパスフィルター（HPF）を設定する

ハイパスフィルターを「ON」に設定することにより、低周波帯域をカットすることができます。周囲の話し声、風切り音などのノイズを低減して、音声をよりクリアに録音できます。

操作：

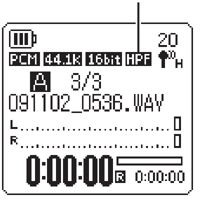
基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [HPF](ハイパスフィルター) → [ON] を選び、[REC] ボタンを押します。



基本画面に HPF が表示されます。

ハイパスフィルターを解除するときは、「OFF」を選択してください。

HPF 表示

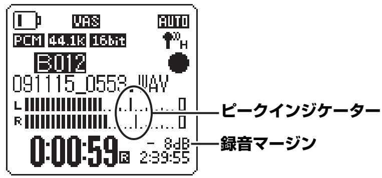


録音ピークホールドを設定する

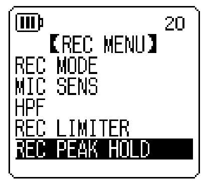
録音ピークインジケーターと録音マージンを表示する時間を設定できます。ライブ録音など録音レベルを最大にして録音したい場合や、録音した曲を歪ませたくない場合のレベルチェック用などにお使いください。

Hint：

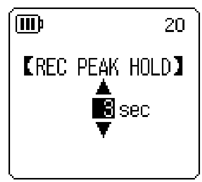
録音ピークインジケーターは、レベルメーターのセグメントの点灯をホールドさせることで、録音レベルの最大値を一目で確認できる機能です。この機能を使って、曲の中で音量が最大になるパートの録音マージン値が 0dB に近くなるように録音レベルを調整する（36 ページ）ことで、より高音質な録音が可能です。



1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [REC PEAK HOLD](録音ピークホールド) を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、ピークホールド表示時間を、1 sec (1 秒) 単位で 0sec(0 秒) から 10sec(10 秒) までのお好みの時間、または [INF](無限）に設定し、[REC] ボタンを押します。



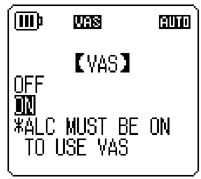
3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

音声を感知して自動録音する（VAS）

VAS（音声起動システム）を「ON」に設定することにより、録音待機状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始できます。音声が一定レベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）します。VAS は楽器練習などで、演奏を開始するごとに録音を開始する便利な機能です。**VAS は ALC が「ON」に設定されているときのみ機能します。**

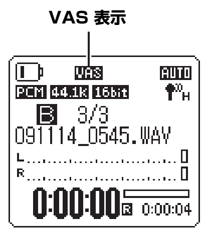
Note：
小さな音は録音しない場合がありますので、大切な録音をするときは、VAS を「OFF」にしてください。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [VAS] → [ON] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に **VAS** が表示されます。

3. [REC] ボタンを押します。
音声を感知すると自動的に録音が始まります。
音声を感知できない場合には、経過時間、録音残時間が点滅し、一時停止 (録音待機) 状態になります。



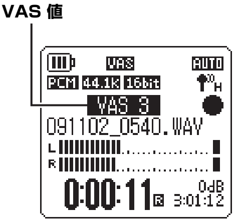
Note：
- 音声を感知しない場合や、録音が一時停止（録音待機）しない場合は、「音声感知レベル（VAS 値）の設定」（49 ページ）で調整してください。
- VAS が「ON」に設定されている状態で録音を開始すると、約 2 秒間は無条件に録音されます。
- ハイパスフィルター (HPF）が「ON」に設定されていると、VAS が機能しないことがあります。ハイパスフィルターを「OFF」にしてください。

音声感知レベル（VAS 値）の設定

音声感知レベルは音量に応じて 5 段階（1 ～ 5）で調節できます。数字が大きくなるほど、音声感度が高くなり、小さな音でも録音が始まります。反対に数字が小さいと、音声を感知しない場合もあります。入力レベルに合わせてマイク感度（42 ページ）を設定しておくと、より効果的に VAS 機能を利用できます。

操作：

VAS「ON」で録音中に、[INPUT/SPEED](＋ / －) ボタンを押して、音声感知レベルを調節します。

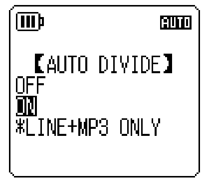


自動無音分割を設定する (AUTO DIVIDE)

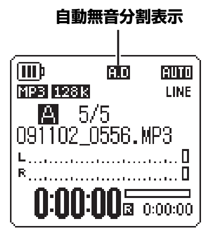
自動無音分割を設定することにより、CD プレーヤーなどからライン入力で音楽を録音するときに、自動で無音部分を感知してファイルを分割できます。2 秒以上の無音部分を感知して、録音を一時停止し、1 曲目をファイル 1、2 曲目をファイル 2 というように、自動的にファイルを分割して録音します。

ライン入力で MP3 録音した場合のみ有効です。ライン入力での PCM 録音や、内蔵マイクおよび外部マイクでの PCM と MP3 録音では機能しません。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [AUTO DIVIDE] → [ON] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻り A.D（自動無音分割）が表示されます。
自動無音分割を解除するときは、手順 1 で「OFF」を選択してください。



Note :

・ライブを収録した CD などで約 2 秒間の無音時間が認識されないときは、自動でファイルを分割できません。ファイル分割機能を使って分割してください（69 ページ）。
・約 15 秒以上無音を感知すると、録音が自動的に停止します。

セルフタイマーで録音する

[REC] ボタンを押してから録音を開始するまでの時間を設定できます。楽器の練習など、本体の操作後、録音開始までに一定の時間を必要とする録音に適しています。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[REC MENU] → [SELF TIMER] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押してセルフタイマー時間を、[5 sec](5 秒)、[10 sec](10 秒)、[30 sec](30 秒) からを選び、[REC] ボタンを押します。



3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

4. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押し、[PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで録音するフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

5. [REC] ボタンを押します。
セルフタイマー待機画面が表示され、手順 2 で設定した時間のカウントダウンが始まります。（LED が点滅します）

Note :
ALC がオフ設定の場合は、録音 STANDBY(スタンドバイ) モードになります。録音レベルを調整してから、再度 [REC] ボタンを押してください。

6. 手順 2 で設定した時間が経過すると、録音が始まります。

Note :
一度セルフタイマー録音を開始すると、セルフタイマーの設定を「OFF」にするか、メニューの初期化を行なうまで、設定は保存されます。

Hint :
カウントダウン中に [STOP] ボタンを押すと、セルフタイマーをキャンセルできます。

LED の設定を変更する

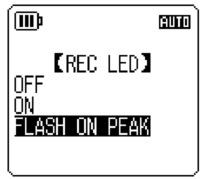
録音時に LED を点灯させない設定 (OFF)、録音時に LED を点灯させる設定 (ON)、録音ピーク LED として LED を点滅させ、録音時に LED を消灯させる設定 (FLASH ON PEAK) ができます。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[COMMON MENU] → [REC LED] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [OFF]、[ON]、[FLASH ON PEAK] から選び、[REC] ボタンを押します。

[OFF]	録音中、録音スタンバイ中、録音一時停止中、再生中ともに LED が消灯します。
[ON]	録音中は LED が点灯します (赤色)。録音中の過大入力時は LED が速く点滅します (赤色)。録音スタンバイ中、録音一時停止中は LED がゆっくり点滅します (赤色)。
[FLASH ON PEAK]	録音中の過大入力時に LED が速く点滅します (赤色)。録音中、録音スタンバイ中、録音一時停止中は LED が消灯します。

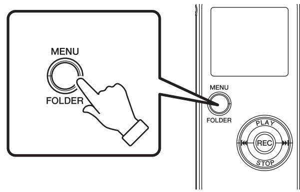


3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

第４章　再生する

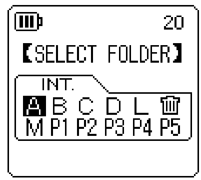
ファイルを再生する

1. 基本画面で[MENU/FOLDER]ボタンを２秒以上押します。

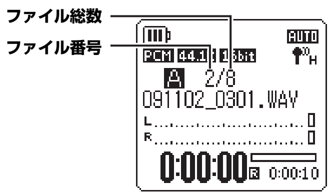


2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで再生するフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

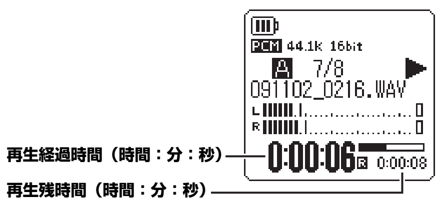
A ～ D：　マイク録音したファイル
L：　ライン録音したファイル
M：　コンピューターから取り込んだファイル
P1 ～ P5：　プレイリスト（M フォルダー内の曲を登録できます）（75 ページ）
(🗑)：　ごみ箱



3. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、再生したいファイル番号を選びます。



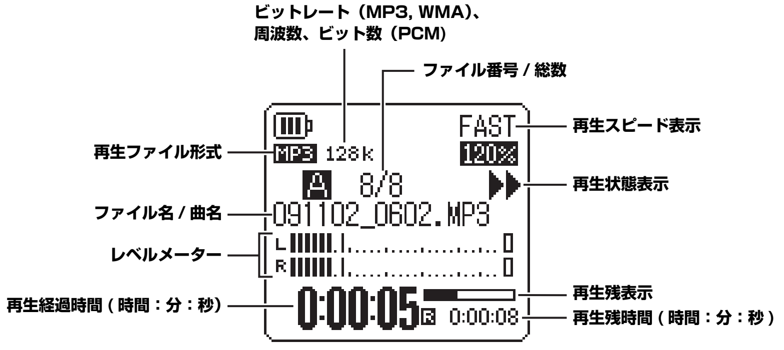
4. [PLAY] ボタンを押します。
再生が始まります。



5. [VOLUME] (＋ / −) ボタンを押して、適切な音量で再生されるように調整します。
音量は 21 段階 (0 〜 20) で表示されます。

6. [STOP] ボタンを押して、再生を停止します。
もう一度 [PLAY] ボタンを押すと、停止した位置から再生が始まります。

再生中の画面表示



Note：
ファイルによって、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。また、登録されたアーティスト名や曲名などが表示されないことがあります。

早送り、早戻しする

■ 早送り / 早戻しする

再生中、[▶▶I] ボタンを 1 秒以上押し続けると早送りが始まります。[I◀◀] ボタンを 1 秒以上押し続けると早戻しが始まります。早送り / 早戻し開始後は、指を離しても早送り / 早戻しが継続されます。

通常の再生速度に戻すには、[PLAY] ボタンを押します。

■ ファイルの頭出しをする

再生中または停止中に［ ▶▶I ］ボタンを押すと、次のファイルに移動します。

［ I◀◀ ］ボタンを押すと、一つ前のファイルに戻ります。

■ インデックスの頭出しをする

インデックスを付けたファイルの再生中に［ ▶▶I ］ボタンを押すと、次のインデックスに進みます。

［ I◀◀ ］ボタンを押すと、一つ前のインデックスに戻ります。

Hint :

インデックスの設定については 73 ページをご覧ください。

ヘッドフォンを使用する

周囲に音を出したくないときや、スピーカーからの再生音が聞き取りにくいときに使用します。

ヘッドフォンは、本機側面のヘッドフォン端子に接続してください。

サウンド EQ 機能（62 ページ）を設定することにより、ヘッドフォンから好みの音質で音楽を聴くことができます。

Note :

サウンド EQ 機能はヘッドフォンでの再生時のみ有効です。

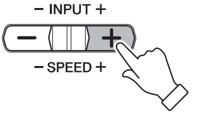
4

再生する

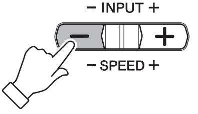
再生スピードを変える

ファイルのピッチ（音程）を変更せずに再生スピードを遅くしたり、速くしたりすることができます。楽器演奏の聞き取りにくい箇所は再生スピードを遅く、会議の内容は速くと必要に応じて再生スピードを調節して聞くことができて便利です。

・ **再生スピードを速くしたい場合**
再生中に、[INPUT/SPEED](＋) ボタンを押します。
ボタンを押すごとに再生スピードが速くなります。

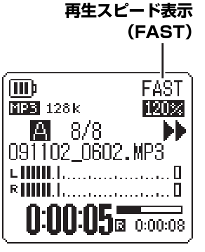


・ **再生スピードを遅くしたい場合**
再生中に、[INPUT/SPEED](－) ボタンを押します。
ボタンを押すごとに再生スピードが遅くなります。



[SLOW] は 5% ごとに、[FAST] は 10% ごとに段階的に再生スピードを変更できます。
再生スピードは、下記のようにファイル形式によって異なります。

	PLAY(通常)	SLOW(遅い)	FAST(速い)
MP3、WMA	100%	50%～100% (5% ごと)	100%～200% (10% ごと)
PCM (WAV)	100%	再生スピードは変更できません	



変更した再生スピードは、再生を停止してもそのまま保持され、次回以降の再生でも変更したスピードで再生されます。ただし、電源を切ると通常のスピードに戻ります。

Note :
・ファイルによっては、再生スピードを切り換えると正常に再生されない場合があります。
・50% や 200% などスピードを大きく変更した場合は、音が聞き取りにくいことがあります。

設定した時間を早送り / 早戻し / 繰り返して再生する

ファイル内の不要な部分を飛ばして（スキップして）再生したり、時間を設定して聞きたい部分だけを繰り返して聞いたりできます。本機では、スキップ再生 (再生位置をすばやく移動)、A-B リピート再生（部分的に繰り返し再生)、フレーズ再生（設定した秒数だけ早戻し）の 3 つの機能が利用できます。

スキップ再生をする

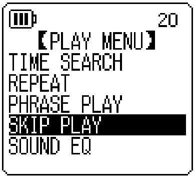
再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけ早送りしたり、早戻ししたりして再生できます。
再生位置をすばやく移動するときに便利です。

再生中に [▶▶|] ボタンまたは [|◀◀] ボタンを押します。
設定された時間を早送りまたは早戻しします。

Note :
- フォルダーをまたがっての「早送り / 早戻し」はできません。
- 設定したスキップ時間より短い位置に、次のファイルの先頭やインデックスマークがある場合は、その位置にスキップします。

■ スキップ再生の時間を設定する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY MENU] → [SKIP PLAY] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押してスキップする時間を「10 sec(秒)」、「30 sec(秒)」、「1 min(分)」、「5 min(分)」、「15 min(分)」から選び、[REC] ボタンを押します。



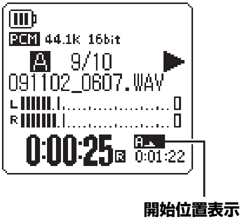
3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

Hint :
再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてスキップ再生の設定ができます。

A-B リピート（部分リピート）再生をする

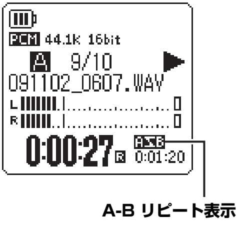
再生中のファイルの一部分（A 点から B 点まで）を指定し、繰り返し再生することができます。

1. 再生中に、A-B リピート再生する開始位置（A 点）で [REC] ボタンを押します。
開始位置表示が点灯します。



2. A-B リピート再生する終了位置（B 点）で再度 [REC] ボタンを押します。
終了位置が決まり、A-B リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。
A-B リピート再生を解除するには、A-B リピート再生中に次の操作のいずれかを行なってください。

- もう一度 [REC] ボタンを押す
- [STOP] ボタンを押す
- [⏮]/[⏭] ボタンを押す



Note：

- A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、A-B リピートの設定ができません。
- A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。
- ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

フレーズ再生をする

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

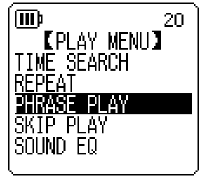
再生中に [PLAY] ボタンを押します。
あらかじめ設定した秒数だけ戻って再生します。

Note：

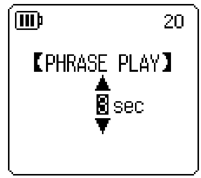
- A-B リピートを行なっている場合は A-B リピート設定区間内でフレーズ再生を行ないます。
- 戻す秒数が、現在の再生位置より長い場合はファイルの先頭から再生します。
- 最大で、再生中ファイルの先頭まで戻りますが、ファイルをまたいで（1 つ前のファイルに）戻ることはありません。

■ フレーズ再生の時間を変更する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY MENU] → [PHRASE PLAY] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して１ sec(１秒)～５ sec(５秒)の範囲を１ sec(１ 秒) 単位で、戻して再生したい秒数を選び、[REC] ボタンを押します。



3. [MENU/FOLDER] ボタンを２回押します。
基本画面に戻ります。

Hint :
再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてフレーズ再生の設定ができます。

同じファイルを繰り返し再生する

ファイルをリピート再生 (繰り返し再生) することができます。同じファイルを何度も繰り返したり、フォルダー内のファイルを順に再生したり、もしくはランダムに再生したり、いろいろなリピート再生が選べます。

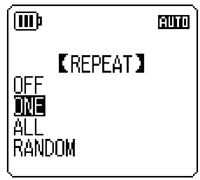
■ リピートモードを設定する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY MENU] → [REPEAT] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [OFF]、[ONE]、[ALL]、[RANDOM] から、リピートモードを選び、[REC] ボタンを押します。

[OFF]	リピート再生しません。
[ONE]	選択している曲を繰り返し再生します。
[ALL]	フォルダー内のすべての曲を繰り返し再生します。(フォルダーをまたがっての再生はできません)
[RANDOM]	フォルダー内のすべての曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。(フォルダーをまたがっての再生はできません)



3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。
画面右下にリピートモードのアイコンが表示されます。

1↺	ONE
↺	ALL
RND	RANDOM

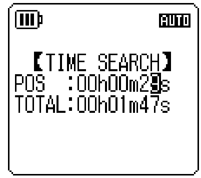
4. [PLAY] ボタンを押します。
設定されているリピートモードで再生されます。
リピート再生を中止するときは、手順 2 のリピートモードの設定で「OFF」を選択してください。

Hint :
再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてリピート再生の設定ができます。

時間指定サーチをする

ファイルの再生開始位置を時間指定し、指定した位置から再生できます。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY MENU] → [TIME SEARCH]（時間指定サーチ）を選び、[REC] ボタンを押します。
2. [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、指定する時間 (h)、分 (m)、秒 (s) を選びます。
   [PLAY]/[STOP] ボタンを押すごとに、数値が変わります。



   POS：　指定時間（位置）
   TOTAL：　ファイルの総時間

3. [REC] ボタンを押します。
   指定した位置からファイルが再生されます。

Note：
時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行なうことができます。

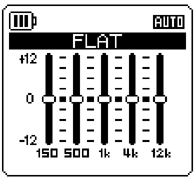
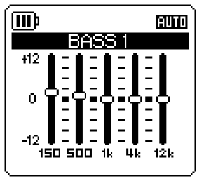
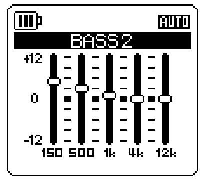
サウンド EQ(イコライザー) を設定する

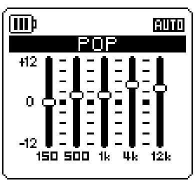
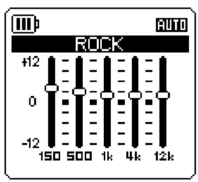
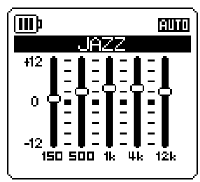
サウンド EQ を設定することにより、お好みの音質で音楽をお楽しみいただけます。サウンド EQ は、**ヘッドフォンで再生するときのみ有効**です。

サウンド EQ モードについて

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「BASS1」、「BASS2」、「POP」、「ROCK」、「JAZZ」の 6 種類のサウンド EQ モードと、5 バンドの補正量を自由に設定できる「USER」から選択することができます。

プリセットサウンド EQ の特徴

<table>
<tr><th>FLAT</th><th>BASS1</th><th>BASS2</th></tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr><td>「サウンド EQ」機能を使わず、
原音のまま再生します。</td><td>低音域をやや強調します。</td><td>低音域をより強調します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>POP</th><th>ROCK</th><th>JAZZ</th></tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr><td>高音域をより強調します。</td><td>低音域と高音域をやや強調します。</td><td>中音域を強調します。</td></tr>
</table>

Note :

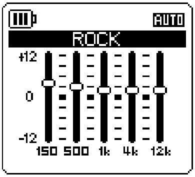
プリセットされている 6 種類のサウンド EQ の設定は変更できません。サウンド EQ をお好みの設定に変更したい場合は、「USER」を選択してください。

プリセットサウンド EQ モードを設定する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY MENU] → [SOUND EQ] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、お好みのサウンド EQ を選択します。
6 つのプリセットサウンド EQ と、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。



Hint :
「USER」を選択した場合の EQ の設定方法は 64 ページをご覧ください。

3. [REC] ボタンを押します。
選択したサウンド EQ が設定されます。

4. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。画面に **EQ** が表示されます。

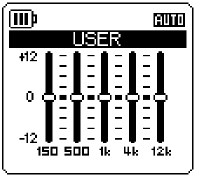
Hint :
再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてサウンド EQ の設定ができます。

サウンド EQ をお好みで設定する

サウンド EQ で「USER」を選択すると、サウンド EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定できます。

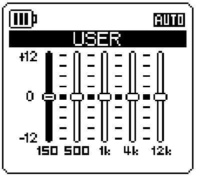
1. サウンド EQ 設定で「USER」を選択します。

「プリセットサウンド EQ モードを設定する」（63 ページ）の手順 1、2 をご覧ください。



2. [STOP] ボタンを押します。

150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。



3. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、変更したい周波数帯を選びます。

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、選択した周波数帯の補正量を調整します。

− 12dB ～ +12dB の範囲を 1dB 単位で調整できます。値が大きいほど再生レベルが大きくなり、その周波数帯が強調されます。

Note：

・他の周波数帯を変更する場合は、手順 3、4 の操作を繰り返してください。
・途中で操作を中止するときは、[MENU/FOLDER] ボタンを押してください。

5. [REC] ボタンを押します。

サウンド EQ の「USER」設定が完了します。

6. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。

基本画面に戻ります。画面に EQ が表示されます。

第 6 章　チューナー機能を使う

本機のチューナー機能を使って楽器をチューニングしたり、チューニングの基準ピッチ（周波数）を変更できます。

チューニングを行なう

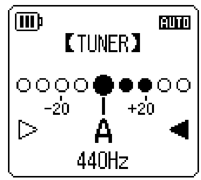
1. 内蔵ステレオマイクをチューニングする楽器に近づけます。

Note :

エレキギター、シンセサイザーなどをチューニングする場合は、それらの楽器を MIC/LINE 端子に接続してください。

☞ **MIC/LINE 端子を使用する場合の設定は、「外部機器（CD プレーヤーなど）から録音する」（39 ページ）をご覧ください。**

2. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[TUNER] → [START] を選び、[REC] ボタンを押します。
ピッチの測定が始まります。



3. もっとも近い音名が中央に表示されますので（ここでは A)、●が中央に表示されるように楽器をチューニングします。
ピッチが低すぎる場合は左側に、高すぎる場合は右側に●が表示されます。

チューニングが合うと、画面両端の白三角（▷）が 2 つとも黒三角（▶）になり、LED が点灯します。

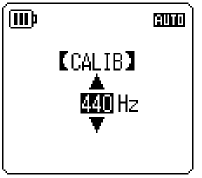
4. [STOP] ボタンを押して、ピッチの測定を終了します。

Note :

- ピッチの測定を開始後、オートパワーオフ機能（91 ページ）で設定した時間、本機を操作しなかった場合、自動的にピッチの測定が終了し電源が切れます。
- チューナー使用中はバックライトが常にオンになります（バックライト設定が「OFF」に設定されている場合を除く）。

基準ピッチを変更する

基準ピッチを 1Hz 単位で 430 〜 450Hz の範囲で変更できます。お買い上げ時は 440Hz に設定されています。



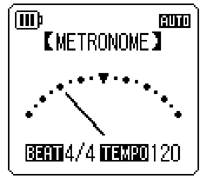
1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[TUNER] → [CALIBRATE] を選び、[REC] ボタンを押します。
2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、ピッチを 430 〜 450Hz の範囲で設定し、[REC] ボタンを押します。
3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
   基本画面に戻ります。

第 7 章　メトロノーム機能を使う

本機はメトロノームを内蔵しています。メトロノームを鳴らしたり、メトロノームのテンポ (スピード) や拍子を変更したり、録音時にメトロノーム音をヘッドフォンから聞くこともできます。

メトロノームを使う

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[METRONOME] → [START](開始) を選び、[REC] ボタンを押します。
メトロノーム音がスピーカーもしくはヘッドフォンのどちらかから鳴ります。



2. [STOP] ボタンを押すと、メトロノーム音が止まります。

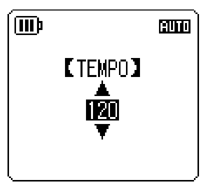
3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

テンポ (スピード) を設定する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[METRONOME] → [TEMPO](テンポ設定) を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して､テンポを 30 ～ 250 の範囲で設定し、[REC] ボタンを押します。



3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

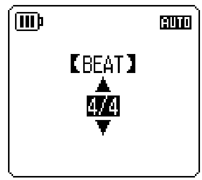
Note：
メトロノーム音を鳴らしながら、[◀◀]/[▶▶] ボタンを押して、テンポを設定することもできます。

拍子を設定する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[METRONOME] → [BEAT](拍子設定) を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、拍子を0/4～8/4の範囲で設定し、[REC] ボタンを押します。



3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

録音時にメトロノームを鳴らす

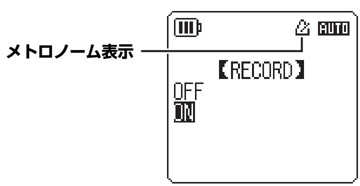
ヘッドフォンからメトロノーム音を聞きながら録音ができます (スピーカーからメトロノーム音は鳴りません)。楽器の練習用などにお使いになると便利です。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[METRONOME] → [RECORD](録音設定) を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [ON] を選び、[REC] ボタンを押します。
録音時のメトロノーム音が設定され、画面右上にが表示されます。

3. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻り、録音時にヘッドフォンからメトロノーム音を聞くことができます。
録音時、メトロノーム音は記録されません。



ファイルを分割する

本機で録音した MIC（A ～ D）または LINE（L）フォルダー内にある 1 ファイルを 2 つに分割して、不要部分の削除や必要部分の抜き出しができます。

⚠ 注意

分割したファイルは、元に戻せません。分割する前に必ずコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。

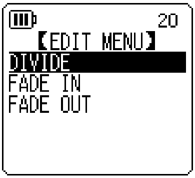
1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。

2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで分割したいファイルのあるフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

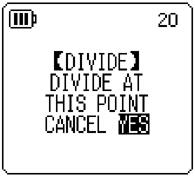
3. [⏮]/[⏭] ボタンを押して分割したいファイルを選び、[PLAY] ボタンを押します。
再生が始まります。

4. 分割したい場所で [STOP] ボタンを押します。
再生が停止します。

5. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[EDIT MENU] → [DIVIDE]（ファイル分割）を選び、[REC] ボタンを押します。



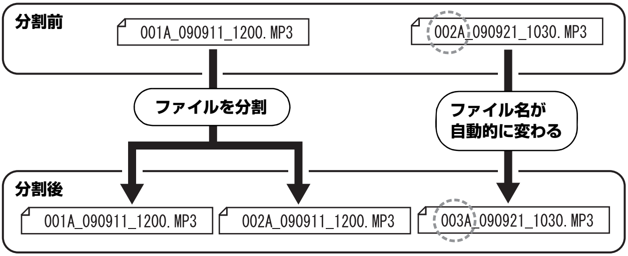
6. [⏮]/[⏭] ボタンを押して [YES] を選び、[REC] ボタンを押します。
「DIVIDING...」→「DIVIDE COMPLETED !」が表示され、ファイル分割が完了します。
ファイル分割が完了するとフォルダー内のファイルの数が 1 つ増えます。



Note：

- 分割可能なファイルは本機で録音した MP3 ファイルおよび WAV ファイルです。
- 録音時間が短すぎる場合は、画面に「CANNOT DIVIDE! REC TIME TOO SHORT!」と表示され、ファイルを分割できません。また、MUSIC(M) フォルダーおよびごみ箱フォルダー内のファイルは、ファイル分割できません。
- インデックス (73 ページ）を付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。

■ 分割後のファイル名について



“001A_090911_1200.MP3” ファイルを分割すると、“002A_090911_1200.MP3” ファイルが新たに作成されます。フォルダー内に同じファイル名のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルの名称が自動的に変わります。

Note：
本機ではファイル番号やフォルダーの種類は表示されません (100 ページ)。コンピューターに接続した場合に確認できます。

■ 分割した部分の重複時間、および分割に必要な録音時間

分割したファイルは、以下の表のように、分割前後の録音部分が重複します。またファイルを分割するには、重複時間の２倍以上の録音時間が必要です。

録音モード		重複する時間	必要な録音時間
MP3	32kbps	約８秒	約 16 秒以上
	64kbps	約４秒	約８秒以上
	128kbps	約２秒	約４秒以上
	192kbps	約１秒以下	約２秒以上
	320kbps		
PCM	44.1kHz		
	48kHz		
	88.2kHz		
	96kHz		

フェードイン / フェードアウトさせる

本機の PCM(WAV) 形式で録音したファイルにフェードイン / フェードアウト効果を追加することができます。フェードインはファイルの先頭の音量を徐々に上げ、フェードアウトはファイルの最後の音量を徐々に下げます。

⚠ **注意**

フェードイン / フェードアウト効果を追加したファイルは元に戻せません。効果を追加する前に、必ずコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。

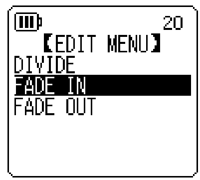
フェードインさせる

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。

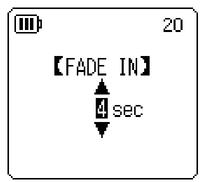
2. [PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンでフェードインしたいファイルのあるフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

3. [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押してフェードインしたいファイルを選びます。

4. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[EDIT MENU] → [FADE IN](フェードイン）を選び、[REC] ボタンを押します。



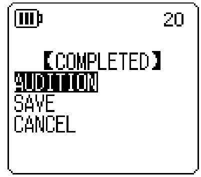
5. [PLAY]/[STOP] ボタンを押してフェードインさせる時間を設定し、[REC] ボタンを押します。
1 sec(1 秒）～ 8 sec(秒）の範囲で設定できます。
「FADE IN EXECUTING...」(フェードイン実行中) が表示されます。



Note :

本機で PCM 録音したファイル以外を選択していた場合や 10 秒以下のファイルを選択していた場合、「CANNOT FADE IN! FILE TOO SHORT!」(このファイルはフェードインできません。ファイルが短すぎます。) と表示されます。

6. [COMPLETED](完了) の画面が表示されたら、[PLAY]/[STOP] ボタンを押して [AUDITION](試聴）を選び、[REC] ボタンを押します。
フェードイン効果を追加した状態のファイルが再生されます。



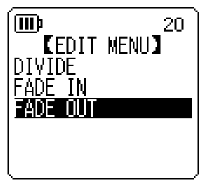
[AUDITION](試聴)	フェードイン効果を追加した状態で冒頭部分を最長約 10 秒間試聴できます。
[SAVE](上書保存)	フェードイン効果を確定します。確定後はフェードイン前の状態に戻すことができません。
[CANCEL](取消)	フェードイン効果を取消します。

7. 試聴した内容で保存する場合は、[PLAY]/[STOP] ボタンを押して [SAVE] を選び、[REC] ボタンを押します。
フェードイン効果のついたファイルが元のファイルに上書きされます。
ファイルを上書き保存しない場合は、[CANCEL] を選び、[REC] ボタンを押してください。

Note：
内蔵メモリー（または microSD カード）に空きの容量がない場合は、ファイルをフェードイン / フェードアウトできません。

フェードアウトさせる

操作手順はフェードインと同じですので、「フェードインさせる」（71 ページ）をご覧ください。**ただし、フェードアウトの場合は、手順４で [FADE IN] ではなく [FADE OUT] を選んでください。**



インデックスを付ける / 消去する

インデックスを付けると、再生時に頭出し操作ができますので、聞きたい位置をすばやく探すことができます。LINE(L) フォルダー、MUSIC(M) フォルダー、ごみ箱（🗑）フォルダーのファイルには、インデックスを付けることはできません。

インデックスを付ける

録音中、録音一時停止中または再生中、インデックスを付けたい位置で側面にある [ALC/DELETE] ボタンを押します。

「INDEX SETTING...」(インデックス記録中 ...) が表示され、その箇所にインデックスが付きます。

Note：

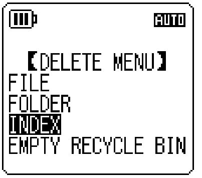
- インデックスを付けたあとも、録音または再生は続きますので、同様の操作で別の箇所にインデックスを付けることができます。
- インデックスは１ファイルに最大 36ヶ所付けることができます。36ヶ所を超えると「INDEX FULL !」(インデックスが一杯です) と表示され、記録されません。
- インデックスを付けたファイルをファイル分割するとインデックスは消去されます。

インデックスを消去する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを２秒以上押します。
2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンでインデックスを消去したいファイルのあるフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。
3. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、インデックスを消去するファイルを選び、側面にある [ALC/DELETE] ボタンを２秒以上押します。



4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [INDEX] を選び、[REC] ボタンを押します。



5. [⏮]/[⏭] ボタンを押して [DELETE] を選び、[REC] ボタンを押します。
「DELETING...」(消去実行中 ...) が表示され、インデックスが消去されます。



Note :

・インデックスを消去しても音声は消去されません。
・ファイル内の個別のインデックス消去はできません。ファイル内のすべてのインデックスを消去します。

プレイリスト機能（MUSIC フォルダーのみ）

本機にはあらかじめ 5 つのプレイリストファイル P1 ～ 5(PLIST1 ～ 5.M3U) が用意されており、MUSIC(M) フォルダー内のお好みの曲をプレイリストに登録することによって、ご希望の順番で再生できます。

プレイリスト機能を使う前に、コンピューターを使って MUSIC(M) フォルダーに音声ファイル（曲）を転送しておいてください。

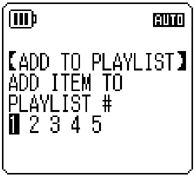
☞「コンピューターに接続する」（94 ページ）
☞「ファイルとフォルダーについて」（96 ページ）

プレイリスト (P1 ～ 5) にファイルやフォルダーを登録する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押して、[PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで [M] フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンを押して、プレイリストへ登録したいファイルまたはフォルダーを選択した状態で、[REC] ボタンを 2 秒以上押します。

3. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、登録したいプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5 のいずれか）を選び、[REC] ボタンを押します。
選択したプレイリストにファイルまたはフォルダーが登録されます。



Note :
- 1 つのプレイリストにつき、99 ファイル登録できます。
- プレイリスト（P1 ～ 5) は削除することができません。
- プレイリスト（P1 ～ 5) はコンピューターで編集しないでください。

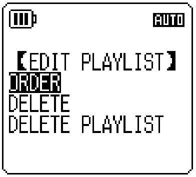
プレイリスト (P1 ～ 5) の再生順を変更する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押して、[PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで [P1] ～ [P5] フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。
選択したプレイリストがリスト表示されます。

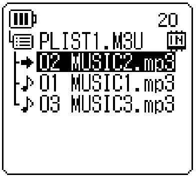
2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して再生順を変更したいファイルを選び、[REC] ボタンを 2 秒以上押します。



3. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [ORDER](曲順変更) を選び、[REC] ボタンを押します。



4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して選択したファイルを再生したい順番の位置に移動します。
選択中のファイルのアイコンが➡に変わります。



5. [REC] ボタンを押します。
プレイリストの再生順が変更されます。

プレイリスト (P1 ～ 5）のファイルを 1 件消去する

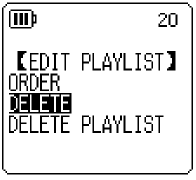
プレイリストに登録されているファイルの登録を消去します。ただし、プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押して、[PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで [P1] ～ [P5] フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。
選択したプレイリストがリスト表示されます。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して消去したいファイルを選択した状態で、[REC] ボタンを 2 秒以上押します。

3. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [DELETE](消去) を選び、[REC] ボタンを押します。



4. [⏮]/[⏭] ボタンを押して [DELETE](消去) を選び、[REC] ボタンを押します。
選択したファイルがプレイリストから消去されます。

プレイリスト (P1 ～ 5）のファイルを全件消去する

プレイリストに登録されているすべてのファイルの登録を消去します。ただし、プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押して、[PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンで [P1] ～ [P5] フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。
選択したプレイリストがリスト表示されます。

2. [REC] ボタンを 2 秒以上押します。

3. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [DELETE PLAYLIST]（プレイリスト消去）を選び、[REC] ボタンを押します。



4. [⏮]/[⏭] ボタンを押して [DELETE](消去) を選び、[REC] ボタンを押します。
プレイリスト内のすべてのファイルがプレイリストから消去され、“No File” と表示されます。



ごみ箱（RECYCLE BIN) について

ごみ箱機能がオンのときに本機で消去したファイルは、一時的にごみ箱（ ）フォルダーに移動し、必要なときに元に戻すことができます。ごみ箱機能がオフのときにファイルやフォルダーを消去すると、データは完全に消去され、元に戻すことができません。誤消去防止のために、ごみ箱機能をオンにすることをおすすめします。

ただし、ごみ箱フォルダーを空にしないと記憶容量が増えません。メモリーの記憶容量がない場合は、次の録音ができない状態になりますので、定期的にごみ箱を空にすることをおすすめします。

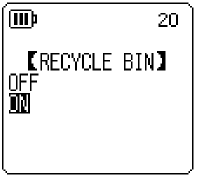
Note :

ごみ箱フォルダーの最大ファイル数は 199 ファイルです。ごみ箱フォルダーがいっぱいでファイルをごみ箱に移動できない場合は、ごみ箱フォルダー内のファイルを元のフォルダー内に戻す（80 ページ）か、ごみ箱フォルダーを空にしてください（81 ページ）。

ごみ箱機能を設定する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [RECYCLE BIN](ごみ箱機能) → [ON] を選び、[REC] ボタンを押します。
ごみ箱機能が設定されます。

2. [MENU/FOLDER] ボタンを２回押すと、基本画面に戻ります。



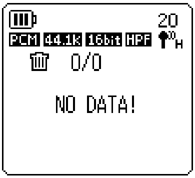
Note :

- ごみ箱フォルダーに移動できるのは、MIC（A ～ D）および LINE（L）フォルダーのファイルのみです。MUSIC(M) フォルダーのファイルは、ごみ箱機能設定がオン / オフにかかわらず、ごみ箱フォルダーに移動しません。ファイルを消去すると、本機から完全に消去されます。
- 本機内蔵メモリーまたは microSD カードを初期化した場合は、すべてのファイルが消去されます (ごみ箱フォルダーに移動しません)。ごみ箱にあるファイルもすべて消去されます。
- ごみ箱機能がオンのときにファイルを削除しても、録音残時間表示は増えません。

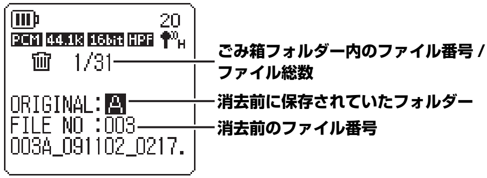
ごみ箱フォルダーの表示について

基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押して、[PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンでごみ箱 (🗑) フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

・ ファイルがない場合



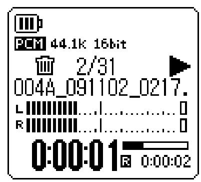
・ ファイルがある場合



ごみ箱に移動したファイルのファイル名は自動的に変更されます（100 ページ）。

ごみ箱フォルダー内のファイルを再生する

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。
2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンでごみ箱（🗑）フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。
3. [⏮]/[⏭] ボタンを押してファイルを選び、[PLAY] ボタンを押します。
   選択したファイルが再生されます。

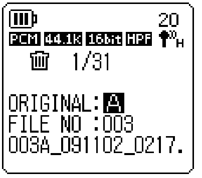


ごみ箱フォルダー内のファイルを元に戻す

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。

2. [PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンでごみ箱（🗑）フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

3. [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、元に戻すファイルを選び、側面にある [ALC/DELETE] ボタンを 2 秒以上押します。



4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [RESTORE 1 FILE](一件戻す) を選び、[REC] ボタンを押します。



5. [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して [RESTORE](戻す) を選び、[REC] ボタンを押します。
「RESTORING...」（ごみ箱からファイルを戻しています ...）→「FILE RESTORED」（ファイルを戻しました）画面が表示され、ファイルが元のフォルダーに戻ります。



Note：

- ごみ箱内のファイルを元に戻した場合、ファイル名が変わり、元のフォルダーの最後尾に復元されます（100 ページ）。
- 「FOLDER FULL!」（フォルダーが一杯です。ファイルを戻せません）と表示された場合は、元のフォルダーのファイル数が制限数に達しています。ファイルを消去して空き容量を増やしてください。

6. もう一度 [REC] ボタンを押します。

ごみ箱フォルダーを空にする

⚠ 注意

ごみ箱を空にすると、ごみ箱内のファイルは完全に内蔵メモリーまたは microSD カードから削除されます。元に戻すことはできませんので、空にする前に、必要なデータはコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。

実行する前に内蔵メモリーと microSD カードのどちらが選択されているかを必ず確認してください。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。

2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンでごみ箱（🗑）フォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

3. 側面にある [ALC/DELETE] ボタンを 2 秒以上押します。

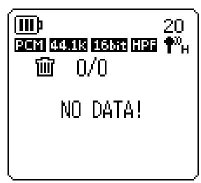
4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [EMPTY](空にする) を選び、[REC] ボタンを押します。



5. [⏮]/[⏭] ボタンを押して [EMPTY] を選び、[REC] ボタンを押します。



「EMPTYING...」(ごみ箱を空にしています ...）と表示されたあと、「NO DATA!」(ごみ箱は空です) が表示され、ごみ箱が空になります。



Note :

- ごみ箱フォルダーにファイルが多くたまると、動作が低下するおそれがあります。定期的にごみ箱を空にすることをおすすめします。
- 1 ファイル単位でのごみ箱からの消去はできません。

ファイルを消去する

フォルダー内のファイルを 1 つ選んで消去します。

⚠ 注意

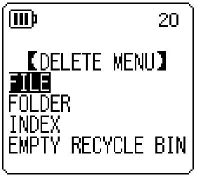
- **ごみ箱機能がオフの場合 (78 ページ)、一度消去したファイルは元に戻すことができませんので、消去前に必ずファイル内の録音内容を確認してください。**
- **操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。**

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押します。

2. [PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンで消去するファイルのあるフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。

3. [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、消去したいファイル番号を選び、側面にある [ALC/DELETE] ボタンを 2 秒以上押します。

4. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [FILE] を選び、[REC] ボタンを押します。



5. [DELETE FILE](1 件消去) 画面が表示されたら、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、[DELETE](消去）を選び、[REC] ボタンを押します。
「DELETING...」（消去実行中 ...）が表示され、ファイルが消去されます。



Note :

- 消去を実行しないときは [CANCEL] を選択し、[REC] ボタンを押します。
- 消去実行中は、取り消しはできません。

ごみ箱機能を ON に設定している場合は、ファイルはごみ箱に移動されます。「MOVED TO RECYCLE BIN」(ごみ箱に移しました) と表示されますので [OK] を選び、[REC] ボタンを押してください。



Note :
「RECYCLE BIN FULL!」(ごみ箱が一杯です) と表示された場合は、ごみ箱フォルダーのファイルが一杯になっています。ごみ箱を空にしたあとで、ファイルを消去してください。

フォルダーを消去する

フォルダー内の全ファイルを消去します。

注意
- **ごみ箱機能がオフの場合 (78 ページ)、一度消去したフォルダー内のファイルは元に戻すことができませんので、消去前に必ずフォルダー内の録音内容を確認してください。**
- **操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。**

操作手順はファイルの消去と同じですので、「ファイルを消去する」（82 ページ）をご覧ください。
ただし、フォルダーの場合は、手順４で [FILE] でなく [FOLDER] を選んでください。

Note :
MUSIC(M) フォルダーのサブフォルダー（97、99 ページ）は消去できません。本機をコンピューターに接続し、コンピューター上で消去してください。

本機内蔵メモリー /microSD カードを初期化する（全データの消去）

初期化すると、ごみ箱機能がオンの場合でもすべてのファイルが完全に消去されます。
また、市販の microSD カードを本機ではじめて使う場合も、初期化が必要です。

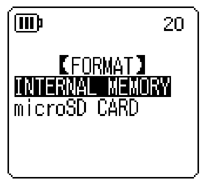
⚠ 注意

- **一度消去したファイルは元に戻すことができませんので、消去前に必ず本機内蔵メモリー /microSD カード内の録音内容を確認してください。**
- **大切なデータは、必ずコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。**
- **本機内蔵メモリーを初期化すると、MANUAL フォルダーが消去されます。必要に応じて以下のウェブサイトからダウンロードしてください。**
  http://www.yamaha.co.jp/manual/
- **操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。**

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [FORMAT] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [INTERNAL MEMORY](内蔵メモリー）または [microSD CARD](microSD カード）を選び、[REC] ボタンを押します。



3. [|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、[FORMAT](初期化）を選び [REC] ボタンを押します。
「FORMATTING...」（初期化実行中 ...）→「FORMAT COMPLETED!」（初期化の完了 !）が表示され、本機内蔵メモリー（または microSD カード）内の全データが消去されます。

Note：

- 初期化を実行しないときは [CANCEL] を選択し、[REC] ボタンを押します。
- 初期化実行中は、取り消しができません。

4. [MENU/FOLDER] を 2 回押します。
基本画面に戻ります。

第 10 章　タイマー機能を使う

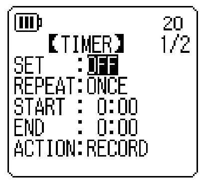
タイマー予約を設定する

あらかじめ設定した時間に、マイク録音したり、ファイルの再生やビープ音を鳴らしたりすることができます。タイマー予約の前に現在の日時が設定されていることを確認してください（89 ページ）。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [TIMER & ALARM] を選び、[REC] ボタンを押します。



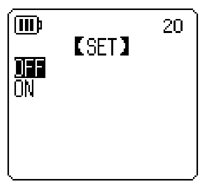
2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、設定する項目を選び、[REC] ボタンを押します。
選択した項目の設定画面に移動します。各項目の設定方法は、85 ～ 87 ページをご覧ください。



■ SET(設定)

[PLAY]/[STOP] ボタンを押して、[ON] または [OFF] を選び、[REC] ボタンを押します。

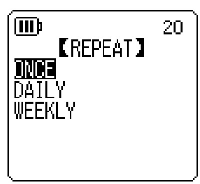
OFF: タイマーを実行しません。
ON: タイマーを実行します。



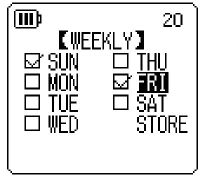
■ REPEAT(繰り返し)

[PLAY]/[STOP] ボタンを押して、[ONCE](1 回)、[DAILY](毎日)、[WEEKLY](毎週) を選び、[REC] ボタンを押します。

ONCE(1 回)：　指定時刻に 1 回だけ予約録音 (再生) します。
DAILY(毎日)：　指定時刻に毎日予約録音 (再生) します。
WEEKLY(毎週)：　指定した曜日の指定時刻に予約録音 (再生) します。



■ WEEKLY(毎週) の設定（REPEAT(繰り返し) で [WEEKLY] を選択した場合のみ）

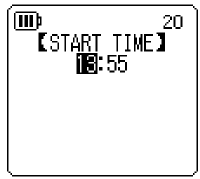


1. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンを押して、希望の曜日を選び、[REC] ボタンを押して、チェックを入れます。
   SUN: 日曜日　**MON:** 月曜日　**TUE:** 火曜日　**WED:** 水曜日
   THU: 木曜日　**FRI:** 金曜日　**SAT:** 土曜日　**STORE:** 確定

Note :
曜日は複数指定できます。

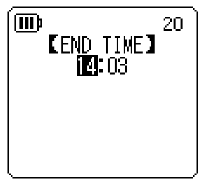
2. [PLAY]/[STOP]、[⏮]/[⏭] ボタンを押して、[STORE](確定) を選び、[REC] ボタンを押します。

■ START(開始時間) の設定



[⏮]/[⏭] ボタンを押して、「時」:「分」を選択し、[PLAY]/[STOP] ボタンを押して数値を変更したあと、[REC] ボタンを押します。

■ END(終了時間) の設定



[⏮]/[⏭] ボタンを押して、「時」:「分」を選択し、[PLAY]/[STOP] ボタンを押して数値を変更したあと、[REC] ボタンを押します。

Note :
開始時間から終了時間までの設定可能時間は最大 12 時間です。

■ ACTION(動作) の設定

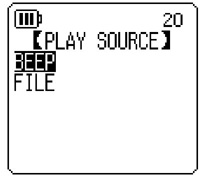


[PLAY]/[STOP] ボタンを押して、[PLAY](再生) または [RECORD](録音) を選び、[REC] ボタンを押します。

PLAY(再生):　タイマーの設定時刻になると、ファイルの再生を開始します。
RECORD(録音):　タイマーの設定時刻になると、録音を開始します。

■ SOURCE(再生元) の設定 (ACTION で [PLAY] を選択した場合のみ)

1. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、[BEEP](ビープ音) または [FILE](ファイル再生) を選びます。
BEEP：　ビープ音を鳴らします。
FILE：　選択したファイルを再生します。
[FILE] を選ぶとファイル一覧画面に切り換わります。再生したいファイル（プレイリスト内、ごみ箱内のファイルを除く）を選択してください。

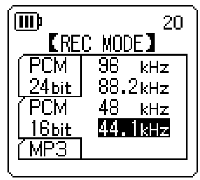


Note：
ファイル一覧画面を表示中に [MENU/FOLDER] ボタンを 2 秒以上押すと、内蔵メモリーと microSD カードを切り換えることができます。

2. [PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、[STORE](完了) を選び、[REC] ボタンを押します。

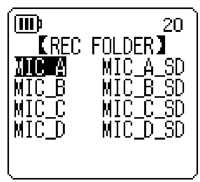
■ REC MODE(音質) の設定 (ACTION で [RECORD] を選択した場合のみ)

[PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、録音モードを選び、[REC] ボタンを押します。

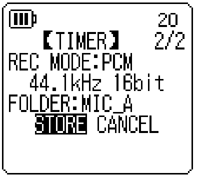


■ FOLDER(録音先) の設定 (ACTION で [RECORD] を選択した場合のみ)

[PLAY]/[STOP]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押して、録音するフォルダーを選び、[REC] ボタンを押します。
MIC_A_SD 〜 MIC_D_SD へ録音する場合はあらかじめ本機に microSD カードをセットしてください。



■ TIMER(タイマー設定) の完了



1. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [STORE](完了) を選び、[REC] ボタンを押します。
登録したタイマーの設定内容が確定し、[COMMON MENU](共通設定) 画面に戻ります。

2. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

Note :

- カレンダー設定が初期化された場合、すべてのタイマー設定は OFF になります。
- 次のような理由によりタイマー予約録音 (再生) が正しくできないことがあります。
  - 本機内蔵メモリー（または microSD カード）の残容量が少なく、指定した時間分のタイマー予約録音ができない場合
  - microSD カードのファイル (再生) またはフォルダー (録音) を指定している状態で、microSD カードが入っていない場合
  - 録音ファイル数の上限 (199) を超えた場合
  - コンピューターなどと接続していて、タイマー開始時刻になっても動作できない場合
  - タイマー録音中 (再生中) に、電池 / 電源が切れた場合
- 何らかの理由により、タイマーが動作しなかった場合は、下記の設定になります。
  繰り返しの設定が [ONCE](1 回) でタイマー録音に失敗した場合、タイマーは OFF になります。
  繰り返しの設定が [DAILY](毎日)、[WEEKLY](毎週) でタイマー録音に失敗した場合、タイマーは継続して ON のままです。

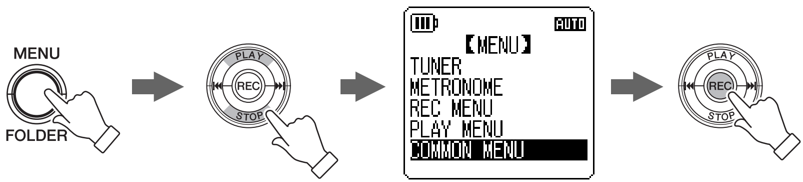
第 11 章　環境設定

使用環境や条件にあわせて、本機を快適にお使いいただくための環境設定ができます。

カレンダー (現在の日付と時間）を設定する

日付と時間を設定しておくことで、「録音した年月日と時間」の情報がファイルごとに自動で記録されます。また、ファイル名に録音日時の情報が入りますので、正確に日時設定をしておくことをおすすめします。

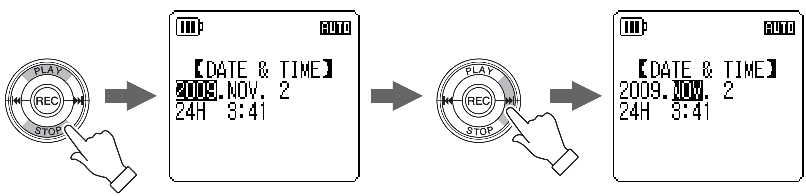
1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンを押して [COMMON MENU] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して [DATE & TIME] を選び、[REC] ボタンを押します。



3. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して西暦を変更し、[▶▶|] を押します。



4. 同様に月、日、24/12 時間表示切換（24H, AM/PM）、時、分を設定し、[REC] ボタンを押します。
カレンダーが設定されます。

5. [MENU/FOLDER] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

ビープ音を設定する

ボタン操作時や誤操作を警告するときなどに、ビープ音を鳴らすことができます。

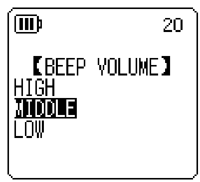
1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [BEEP SOUND] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンで [ON] を選び、[REC] ボタンを押します。



3. [PLAY]/[STOP] ボタンでお好みの音量を選び、[REC] ボタンを押します。
ビープ音（ピッ）を解除する場合は、手順 2 で [OFF] を選択してください。
HIGH：　音量大
MIDDLE：　音量中
LOW：　音量小



オートパワーオフを設定する

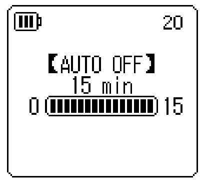
電源がオンの状態で設定した時間本機を使用しなかった場合や、ピッチの測定を開始した状態で、設定した時間操作しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です（録音中、VAS 録音で録音待機中、再生中、メトロノーム使用中を除く）。

1. 基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [AUTO OFF] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [⏮]/[⏭] ボタンを押して、オートパワーオフが機能する時間を選び、[REC] ボタンを押します。
0(OFF) 〜 15(15 分)

1 分単位で設定できます。
オートパワーオフ機能を解除する場合は、[0](OFF) に設定してください。



バックライトを設定する

ボタンやスイッチを押すごとに画面のバックライトが点灯する機能です。

1. 基本画面で、[MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [BACKLIGHT] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [PLAY]/[STOP] ボタンを押して、バックライトを点灯させたい時間を選び、[REC] ボタンを押します。
OFF：　点灯しません
5 sec：　5 秒間点灯
15 sec：　15 秒間点灯
ALWAYS ON：　常時点灯



Note：
電池残量が少ない場合はバックライトが点灯しないことがあります。

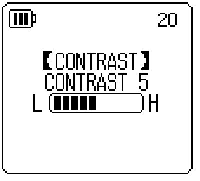
コントラストを調整する

画面のコントラストを 10 段階で調節する機能です。

1. 基本画面で、[MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [CONTRAST] を選び、[REC] ボタンを押します。



2. [⏮]/[⏭] ボタンを押してコントラストの濃淡を調節し、[REC] ボタンを押します。
L(淡)：1 ～ H(濃)：10

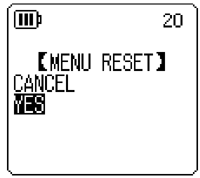


メニュー設定を初期化する

本機の設定を初期化すると、メニュー設定（カレンダー設定を除く）がお買い上げ時の状態に戻ります。

Note：
メニューを初期化しても本機内蔵メモリー、microSD カード内のデータは消去されません。本機内蔵メモリー、microSD カードの初期化は 84 ページをご覧ください。

操作：
基本画面で、[MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [MENU RESET] → [YES] を選び、[REC] ボタンを押します。
初期化を行なわないときは、[CANCEL] を選択してください。



バージョンを確認する

本機のファームウェアのバージョンを確認する機能です。

操作：
基本画面で [MENU/FOLDER] ボタンを押し、[PLAY]/[STOP] ボタンで [COMMON MENU] → [VERSION] を選び、[REC] ボタンを押します。
ファームウェアのバージョンが表示されます。



第 12 章　コンピューターに接続して使う

本機とコンピューターを接続することで、本機内蔵メモリーや microSD カードに保存された音声ファイルをコンピューターに取り込むことができます。取り込んだファイルは Windows Media Player や iTunes などを使って再生したり、付属の DAW ソフトウェア「Cubase AI」を使って編集したりすることができます。また、コンピューターから音声ファイルを本機に転送し再生することもできます。

Note：
お使いの OS やバージョンによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。また本書の説明では Windows XP/Windows Media Player 11 を使用しています。

コンピューターの動作環境

コンピューターの動作環境については、入門編をご覧ください。

☞ **入門編－「コンピューターの動作環境」（29 ページ）**

コンピューターに接続する

1. USB 端子を本機から出します。

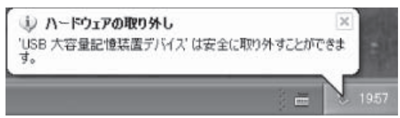
2. 本機の電源がオフになっていることを確認し、USB 端子をコンピューターに接続します。

コンピューターから取り外す

■ Windows:

1. 画面右下のタスクバーの  をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します] をクリックします。

2. 右のメッセージが表示されたら、本機をコンピューターから取り外します。



■ Macintosh:

1. デスクトップに表示されている本機のドライブアイコン [PRC24] または [PRC24SD] を、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動します。

2. デスクトップから本機のドライブアイコン [PRC24] または [PRC24SD] が消えたら、本機をコンピューターから取り外します。

トラブルシューティング（Windows Vista/XP)

本機がコンピューターに認識されない場合は、下記をご確認ください。

■ Windows Vista

本機がコンピューターに接続した状態で、下記の確認作業を行なってください。

1. [スタート] メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システム] 画面を開きます。
2. [デバイス マネージャ] をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から [続行] を選択して [デバイス マネージャ] 画面を開きます。
3. [ディスクドライブ] および [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] を展開し、「Yamaha Pocketrak USB Device」、「Yamaha Pocketrak SD USB Device」および「USB 大容量記憶装置」のデバイス名が表示されていれば正常です。

■ Windows XP

本機をコンピューターに接続した状態で、下記の確認作業を行ってください。

1. [スタート] メニュー(またはデスクトップ上)の [マイコンピュータ] アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システムのプロパティ] 画面を開きます。
2. [ハードウェア] タブ内の [デバイスマネージャ] をクリックしてデバイス マネージャ画面を開きます。
3. [ディスクドライブ] および [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] を展開し、「Yamaha Pocketrak USB Device」、「Yamaha Pocketrak SD USB Device」および「USB 大容量記憶装置デバイス」のデバイス名が表示されていれば正常です。

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら

下記の手順で確認を行なってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させる。
2. 接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウスやキーボードは除く）はすべて取り外して、本機だけを接続する。
3. コンピューターに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に本機を接続する。
4. バスパワー型 USB ハブを介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してコンピューターの USB 端子に直接本機を接続する。

ファイルとフォルダーについて

本機をコンピューターに接続することにより、フォルダー内のファイルの管理ができます。
ファイルをコンピューターへ保存したり、コンピューターから本機へ取り込んだりすることができます。

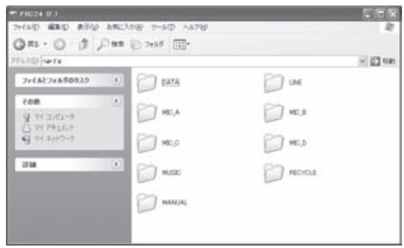
1. 本機をコンピューターに接続します。

2. [スタート] メニューから [マイ コンピュータ] をクリックして開きます。

- 本機内蔵メモリーのドライブ名は [PRC24] と表示されます。
- microSD カードのドライブ名は本機でフォーマットを行なうと [PRC24SD] と表示されます。本機でフォーマットを行なわずに使用する場合や、本機に microSD カードが入っていない場合は「リムーバブルディスク」と表示されます。

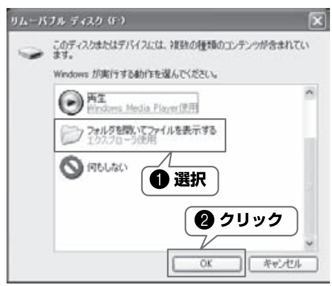


3. [PRC24] （または [PRC24SD]）をダブルクリックして開きます。
本機のフォルダーが表示されます。



Note：

本機接続時に、[自動再生] 画面が表示された場合、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択し [OK] をクリックすると、本機のフォルダーを表示させることができます。



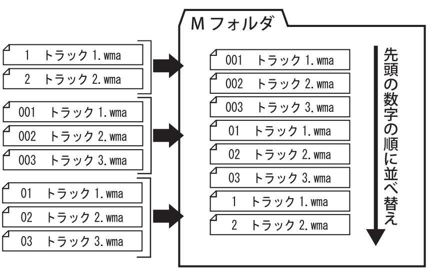
■「ファイル」は下記のいずれかの「フォルダー」に収容され、本機内蔵メモリーまたは microSD カードに保存されています。

・ MIC(A ～ D) / MIC_(A ～ D)_SD
本機で録音した音声ファイル（MP3 および WAV 形式）が保存されているフォルダーです。A ～ D の 4 つのフォルダーがあります。

Note：
・ファイルを違うフォルダー（たとえば A フォルダー内のファイルを B フォルダーへ）に移動しないでください。再生できなくなります。
・本機で録音した MP3 または WAV ファイルの名前をコンピューターで変更した場合、MIC(A ～ D) フォルダーに戻すと再生できなくなります。ファイル名規則にしたがったファイル名に戻すか（100 ページ）、MUSIC(M) フォルダーに移動すると再生できます。

・ MUSIC
音楽ファイルなどコンピューターから転送するファイルを保存するフォルダーです。
転送して再生可能なファイルは MP3 形式、WMA 形式のファイルと本機で録音した WAV ファイルです。ファイル名は問いません。
あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル（PLIST1 ～ 5.M3U）が用意されています。MUSIC フォルダー内のファイルを各プレイリストに登録することで、お好きな順番で再生できます（75 ページ）。

Note：
・フォルダー内にあるファイルのファイル名の先頭の数字によって、昇順（小さい順）に自動で並べ替えられます。
先頭の数字が「001 ～」、「01 ～」、「1 ～」と混在している場合は、「001 ～」、「01 ～」、「1 ～」の順に優先され並べ替えられます。
・このフォルダー内に 2 階層までお好みのフォルダー（サブフォルダー）を作成し、アルバムやアーティストごとにファイルを入れることができます（99 ページ）。
・コンピューターから音声ファイルを転送するときに、同一のファイル名が MUSIC(M) フォルダー内にある場合は、フォルダー内にあったファイルが上書きされますのでご注意ください。



- DATA
  ワードやエクセルなどのファイルを入れて本機を USB フラッシュメモリーや microSD カードリーダー / ライター（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダーです。

Note :

- このフォルダーに音声や曲ファイルを入れても本機では再生できません。
- コンピューター接続時のみ確認できます。本機の操作では表示されません。

- LINE(L) / LINE(L)_SD
  外部機器からライン録音したファイルが保存されているフォルダーです。
  本機で録音した MP3 ファイルの名前をコンピューターで変更した場合、LINE(L) フォルダーに戻すと再生できなくなります。ファイル名規則にしたがったファイル名に戻すか (100 ページ)、MUSIC(M) フォルダーに移動すると再生できます。
- RECYCLE
  ごみ箱フォルダーです。ごみ箱機能がオンのとき、本機で消去したファイルがこのフォルダーに移動されます。ごみ箱フォルダー内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合などでも安心です。
- MANUAL
  PDF 形式の本取扱説明書が保存されているフォルダーです。
  本機内蔵メモリーをフォーマットするとフォルダーが消去されますので、必要に応じて以下のウェブサイトからダウンロードしてください。
  http://www.yamaha.co.jp/manual/

Note :

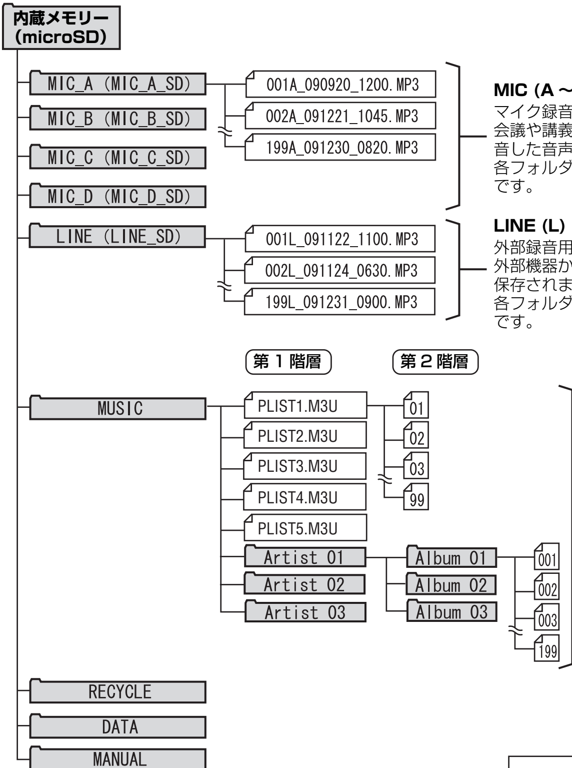
コンピューター接続時のみ確認できます。本機の操作では表示されません。

Hint :

POCKETRAK CX で録音した microSD カードのデータを本機で再生するには

POCKETRAK CX で録音した microSD カードのデータは、フォルダー / ファイル構成が異なるので、そのまま本機で再生することはできません。いったんコンピューターに microSD カードのバックアップをとり、本機でフォーマットした microSD カードまたは本機内蔵メモリーに再生したい音声ファイルをコピーしてください。MIC(A 〜 D) フォルダーまたは LINE(L) フォルダーで再生したい場合は、コンピューター上でファイル名を本機のファイル名規則（100 ページ）にあわせて変更すると、本機で再生できるようになります。

■ 本機のフォルダー構成



MIC (A ～ D) フォルダー：
マイク録音用フォルダーです。
会議や講義、楽器演奏など、本機でマイク録音した音声ファィルはここに保存されます。各フォルダーに最大 199 ファイル記録可能です。

LINE (L) フォルダー：
外部録音用フォルダーです。
外部機器からライン録音した音声ファィルが保存されます。
各フォルダーに最大 199 ファイル記録可能です。

MUSIC（M）フォルダー：
音楽再生用フォルダーです。
各プレイリスト（PLIST）に、最大 99 ファイル登録できます。
1 フォルダーにつき最大 199 ファイル（またはフォルダー）を収納できます。
音楽フォルダー内は最大 2 階層までフォルダーを認識できます。

：フォルダー
：ファイル
※（　）は microSD カードの場合

コンピューターに接続して使う
12

ファイル名規則について

本機で録音したファイルには、下記の規則で自動的に名前がつきます。
なお、本機ではファイル番号やフォルダーの種類は表示されません。コンピューターに接続した場合に確認できます。

001A_091121_1200.MP3

❶ ❷ ❸ ❹ ❺

❶ ファイル番号（001 ～ 199）

❷ フォルダーの種類（A ～ D：MIC A ～ D フォルダー、L：LINE フォルダー）

❸ 録音年月日（年、月、日：ファイルを録音した日付）

❹ 録音時刻（時、分：ファイルの録音を開始した時刻）

❺ 拡張子（ファイル形式：MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV）

また、ごみ箱機能を使ってごみ箱に移動したファイルは、下記のようなファイル名に変更されます。

例： MIC_A フォルダーにある “001A_091121_1200.MP3” ファイルをごみ箱に移動した場合

001_001A_091121_1200.MP3

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻

❶ ごみ箱内のファイル番号 (001、002、003... というように、ごみ箱に移動された順番でつけられます）
本機ではファイル番号は表示されません。コンピューターに接続した場合に確認できます。

❷ ファイル番号 （ごみ箱に移動する前のファイル番号）

❸ 元のフォルダー名 （ごみ箱に移動する前のフォルダー名)

❹ 録音年月日 （年、月、日：ファイルを録音した日付）

❺ 録音時刻 （時、分：ファイルの録音を開始した時刻）

❻ 拡張子（ファイル形式：MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV）

音声ファイルをコンピューターに取り込む

■ Windows:

1. 本機をコンピューターに接続します。

2. [スタート] メニューから [マイ コンピュータ] を開きます。

3. [PRC24](または [PRC24SD]) をダブルクリックして開きます。

4. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダー(MIC_A ～ MIC_D) をダブルクリックして開きます。

5. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

■ Macintosh:

1. 本機をコンピューターに接続します。

2. デスクトップに表示される本機のドライブアイコン [PRC24](または [PRC24SD]) をダブルクリックして開きます。

3. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダー(MIC_A ～ MIC_D) をダブルクリックして開きます。

4. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

Hint :

コンピューターから音声ファイルを本機に転送するには

手順 4（Macintosh は手順 3）で、転送したい MP3、WMA などの音声ファイルを、[MUSIC] フォルダーにドラッグします。MUSIC(M) フォルダーは音楽ファイルなどコンピューターから転送するファイルを保存するフォルダーです。

MIC(A ～ D) フォルダーや LINE(L) フォルダーに転送する場合は、ファイル名規則（100 ページ）にしたがって、ファイル名を変更してください。ファイル名規則にしたがっていないファイルは MUSIC(M) フォルダー以外では再生できません。

音声ファイルを CD に書き込む

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD に書き込むことができます。
Windows Media Player の入手方法の詳細は Microsoft 社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/

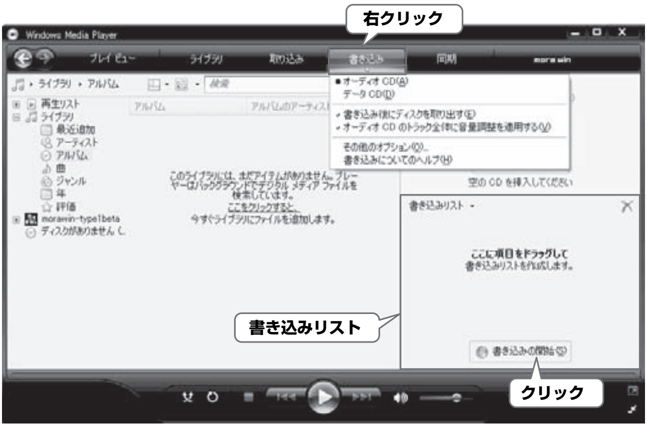
Note :

・本書の説明では Windows XP/Windows Media Player 11 を使用します。
・CD の書き込みには、書き込みが可能なドライブ（CD-R/RW ドライブなど）が必要です。

1. [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Windows Media Player] をクリックして Windows Media Player を起動します。

2. [書き込み]メニューを右クリックし、[オーディオCD]または[データCD]をクリックして選びます。

[オーディオ CD]	CD-DA 形式に変換して CD-R/RW に書き込みます。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。
[データ CD]	本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW に書き込みます。コンピューター上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。



3. 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入します。

4. CD-R/RWに書き込みたいファイルをWindows Media Playerの[書き込みリスト]にドラッグ＆ドロップします。

5. [書き込みの開始] をクリックして、CD-R/RW への書き込みを開始します。

第 13 章　本機で音楽を聞く

本機ではコンピューターから Windows Media Player や iTunes を使って音楽ファイルを転送することで、一般的なミュージックプレーヤーのように、音楽を再生して聞くことができます。
Windows Media Player の入手方法の詳細は Microsoft 社のホームーページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/

Note：
- 本書の説明では Windows XP /Windows Media Player 11 を使用します。
- ヤマハ (株) および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- 本機およびコンピューターの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

音楽 CD から音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD から本機で再生可能なファイル (MP3 または WMA) を作成し、コンピューターに取り込むことができます。

1. [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Windows Media Player] をクリックして Windows Media Player を起動します。

2. [取り込み] メニューを右クリックして、[形式] → [mp3] を選択します。



本機で音楽を聞く
13

3. [取り込み] メニューをクリックします。



4. 音楽 CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。

Note :
お使いのコンピューターがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。

5. コンピューターに取り込みたい曲にチェックをし、[取り込みの開始] をクリックします。
取り込みが始まります。

Note :
Windows Media Player の設定によっては、音楽 CD を挿入したときに自動的に取り込みが開始されます。

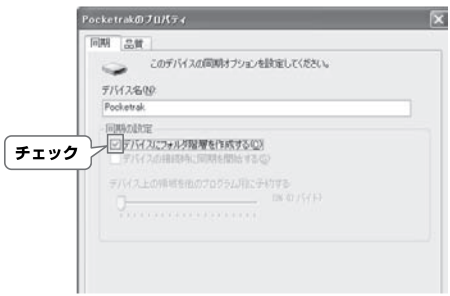
本機に音楽ファイルを転送する（同期させる）

コンピューターに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。
音楽 CD からコンピューターに音楽ファイルを取り込む方法については「音楽 CD から音楽ファイルを作成する（CD リッピング）」（103 ページ）を参照してください。

1. [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Windows Media Player] をクリックして Windows Media Player を起動します。
2. [同期] メニューをクリックします。
3. 本機をコンピューターに接続します。

Note：
デバイスの設定画面が表示された場合は [完了] をクリックしてください。

4. [同期] メニューを右クリックして、[Pocketrak] または [Pocketrak SD] → [詳細オプション ...] をクリックします。
5. [同期] タブの [デバイスにフォルダ階層を作成する] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。



Note：
初期状態でチェックが入っていると、フォルダーが作成されない場合がありますので、
一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[OK] をクリックしてください。

6. 画面左側の [ライブラリ] から同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の [同期リスト] にドラッグ & ドロップします。



7. [同期の開始] をクリックします。
ファイルが本機に転送されます。

第 14 章　Cubase AI をインストールする

付属の DVD には DAW ソフトウェア「Cubas AI」が入っており、このソフトウェアを使って、音声ファイルの編集やミキシングができます。ここでは、Cubase AI のインストール手順を説明します。Cubase AI の操作について知りたい場合は、Cubase に付属のマニュアル (「ヘルプ」メニューから開く PDF 形式のマニュアル) をご参照ください。

Note :

Cubase AI を使って音声ファイルを CD に書き込みすることはできません。CD を作成する場合は、101 ページをご参照ください。

重要

インストールの過程で「スタインバーグ･エンドユーザー･ライセンス契約書」が表示されますので、お読みいただき、同意される場合のみインストールしてください。

1. コンピューターを起動し、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
2. Cubase AI DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「WELCOME TO CUBASE AI」画面が表示されますので、国旗アイコンをクリックして使用する言語を選択します。
4. 「CUBASE AI をインストールする」をクリックします。
5. 表示される画面の指示にしたがってインストールします。

Note :

Cubase AI を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で Cubase AI を起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。

エラーメッセージ一覧

本機の各操作中、画面にエラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージの内容は、下記のとおりです。

本機の状態 (機能）	エラーメッセージ	説明
バッテリー低下	LOW BATTERY! REPLACE BATTERY	電池切れになった場合に表示されます。新しい電池と交換してください。
録音	MEMORY FULL!	録音するために必要な本機内蔵メモリーや microSD カードの空き容量がないときに表示されます。
	FILE FULL!	各フォルダーの録音可能なファイル数を超えて録音しようとした場合に表示されます。
再生	NO DATA!	フォルダー内に再生ファイルがないときに [PLAY] ボタンを押した場合に表示されます。
	CANNOT CHANGE PLAYBACK SPEED!	PCM 録音再生時に、再生スピードの変更操作をした場合に表示されます。PCM(WAV) ファイルは再生スピードを変更できません。
編集 (インデックス）	INDEX FULL!	インデックスが最大数（1 ファイルあたり 36) を超えたため記録できない場合に表示されます。
編集 (ファイル分割）	CANNOT DIVIDE! FOLDER FULL!	フォルダーにこれ以上ファイルを作成できない状態（このフォルダーが一杯の状態）で、ファイル分割操作をした場合に表示されます。
	CANNOT DIVIDE! MEMORY FULL!	ファイル分割するために必要な本機内蔵メモリーや microSD カードの空き容量がない場合に表示されます。
	CANNOT DIVIDE! REC TIME TOO SHORT !	録音時間が短いため分割できない場合に表示されます。
	CANNOT DIVIDE! AT THIS POINT	現在の停止位置ではファイルを分割できない場合に表示されます。

本機の状態 (機能)	エラーメッセージ	説明
編集 （フェードイン / フェードアウト）	CANNOT FADE IN! FILE TOO SHORT!	ファイルが短い（10 秒以下）ためフェードインできない場合に表示されます。
	CANNOT FADE OUT! FILE TOO SHORT!	ファイルが短い（10 秒以下）ためフェードアウトできない場合に表示されます。
	CANNOT FADE IN! READ-ONLY FILE!	PCM（WAV）ファイル以外のファイルをフェードインした場合に表示されます。PCM(WAV) ファイル以外のファイルはフェードインできません。
	CANNOT FADE OUT! READ-ONLY FILE!	PCM（WAV）ファイル以外のファイルをフェードアウトした場合に表示されます。PCM(WAV) ファイル以外はフェードアウトできません。
	MEMORY FULL!	フェードイン、フェードアウトで本機内蔵メモリーや microSD カードの空き容量が不足している場合に表示されます。
編集（全般）	CANNOT EDIT! READ-ONLY MODE!	MUSIC フォルダーを選択時に [EDIT MENU] から編集しようとした場合に表示されます。
リスト表示	NO FILE	フォルダー内に本機で再生できるファイルがない場合に表示されます。
ごみ箱	CANNOT EDIT! READ-ONLY MODE!	ごみ箱フォルダーを選択時に [EDIT MENU] から編集しようとした場合に表示されます。
	FOLDER FULL!	ごみ箱からファイルを戻すときに、戻し先のフォルダーが一杯でファイルをそのフォルダーに戻せない場合に表示されます。
	RECYCLE BIN FULL!	ごみ箱フォルダーが一杯の状態（ファイル数が最大 199）で、ファイルを削除した場合に表示されます（ごみ箱設定 ON 時）。
	PLEASE EMPTY THE RECYCLE BIN FIRST!	本機内蔵メモリーや microSD カードに空容量がないため、ファイル削除やフォルダー削除ができない場合に表示されます。ごみ箱フォルダーを空にしてください。
microSD カード	NO MEDIA!	microSD カードが挿入されていない状態で録音や再生をしようとした場合に表示されます。microSD カードを挿入してください。
	SD CARD ACCESS ERROR! INSERT AGAIN!	microSD カードの認識に失敗した場合や、microSD カードが壊れている場合などに表示されます。再度挿入してください。
	SD CARD WRITE FAILURE!	PCM 録音時などに録音の書き込みが正しくできない状態が発生した場合に表示されます。

本機の状態 (機能）	エラーメッセージ	説明
プレイリスト	PLAYLIST FULL! TOO MANY FILES!	1 つの PLIST(プレイリスト）に 100 ファイル目を登録しようとした場合に表示されます。
	PLAYLIST CAN BE EDITED ONLY IN MUSIC FOLDER	MUSIC(M) フォルダー以外のフォルダー内のファイルを選択して、PLIST(プレイリスト）に登録しようとした場合に表示されます。
	TOO MANY FILES FOR A PLAYLIST!	1 つの PLIST(プレイリスト）に 100 以上のファイルを登録しようとした場合に表示されます。
	NO FILE IN PLAYLIST!	PLIST(プレイリスト）に登録されている元のファイルが削除されている場合に表示されます。

困ったときには

本機が動作しない	
原因	電池が正しく入っていないか、電池切れである。
解決方法	一度電池を完全に抜いてから、電池を正しく入れ直してください。または新しい電池に換えてください（18 ページ)。

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない	
原因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている。
解決方法	本機背面の [POWER/HOLD] スイッチを戻して、ホールド機能を解除してください。

原因	コンピューターと USB 接続したままである。
解決方法	本機をコンピューターから取り外してください（31 ページ)。

microSD カードが認識されない	
原因	microSD カードが正しく挿入されていない。
解決方法	本機の電源をオフにし、再度 microSD カードを挿入し直してください。

原因	microSD カードを本機以外（コンピューターなど）で初期化した。
解決方法	microSD カードを本機で初期化してください (84 ページ)。

音声が聞こえない

原因	音量が小さい。
解決方法	[VOLUME](+/ −) ボタンで音量を調節してください。

MIC_A ～ D、LINE、ごみ箱（ ）フォルダー内のファイルが再生できない

原因	ファイル名が異なる。
解決方法	コンピューターでファイル名を変更すると元のフォルダーに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC(M) フォルダーに転送すると再生できるようになります。

原因	本機で録音した WAV 形式の音声ファイルではない。
解決方法	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルの再生はできません。

MUSIC(M) フォルダー内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原因	再生できるファイル形式ではない。
解決方法	正しく再生できる MP3 形式または WMA 形式のファイルをご使用ください。

原因	本機で録音した PCM(WAV) 形式の音声ファイルではない。
解決方法	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルの再生はできません。

原因	転送先が異なる。
解決方法	コンピューターからファイルを転送するときに、MUSIC(M) フォルダー以外のフォルダーに入れても、本機で再生できません。必ず [PRC24] または [PRC24SD] 内の MUSIC(M) フォルダー内に転送してください。

原因	本機で再生できないファイルとなっている。
解決方法	エンコーダー（MP3/WMA 変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原因	プレイリストに書かれているファイルが MUSIC(M) フォルダー内にない。
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M) フォルダー内にそのファイルを転送してください。

原因	再生可能なファイル数を超えている。
解決方法	1 つのフォルダーにつき最大 199 ファイル再生可能です。サブフォルダーがある場合は、サブフォルダーの数だけ、再生できるファイル数が減ります。別のフォルダーに保存してください。

ファイル分割ができない	
原因	本機内蔵メモリー、microSD カードの空き容量が足りない。
解決方法	不要なファイルを消去してください（82 ページ）。

原因	ファイルの録音時間が短すぎる。
解決方法	ファイル分割に必要な録音時間は、録音モードによって異なります (70 ページ)。

ファイルが消去できない	
原因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている。
解決方法	本機をコンピューターに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。 または、microSD カードの初期化を行なってください（84 ページ）。

コンピューター接続時に、PRC24 または PRC24SD が表示されない	
原因	コンピューターと本機が正しく接続されていない。
解決方法	本機の USB 端子がコンピューターに奥まで正しく差し込まれているか確認してください (94 ページ)。

原因	コンピューターからの電源供給が不十分である。
解決方法	バスパワー型 USB ハブを利用している場合は、コンピューター本体の USB 端子と本機を直接接続するか、セルフパワー型（電源アダプター付）の USB ハブを使用してください。また、コンピューター本体に複数 USB 端子がある場合は、他の USB 端子に接続してみてください (94 ページ)。

原因	ネットワークドライブが割り当てられている。
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、PRC24 または PRC24SD が作成されない場合があります。ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにご確認ください。

原因	コンピューターが本機を認識しない。
解決方法	コンピューターが本機を正しく認識しない場合、再度接続してください。本機に対応するコンピューター以外に接続されても動作保証いたしません (94 ページ)。

コンピューターから本機へのファイルの転送速度が遅い	
原因	コンピューター側が USB1.1 端子に接続している
解決方法	USB2.0 の High Speed 対応 USB 端子に接続してください。

コンピューター接続時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない	
原因	コンピューターと本機が正しく接続されていない。
解決方法	コンピューターによっては、コンピューターに接続した時に、本機に接続アイコン表示がでない場合や、コンピューター側で本機が認識されない場合があります。その場合は本機をコンピューターから抜いて再度接続してください。

録音した音声にノイズが発生している	
原因	風切り音が録音されています。
解決方法	内蔵ステレオマイクは高感度のため、エアコンの微風でも、マイクに直接風や息があたるとノイズとして録音されてしまいます。これらのノイズを軽減するために、 • 設定メニューの [HPF](ハイパスフィルター) を ON にしてください（46 ページ）。 • 設定メニューの [MIC SENS]（マイク感度）を「LOW」（低）に設定してください（42 ページ）。

録音した音声に音の歪み（音割れ）が発生している	
原因	マイク感度が適切でない。
解決方法	• 設定メニューの [MIC SENS]（マイク感度）を「LOW」（低）に設定してください（42 ページ）。それでも音割れする場合は設定メニューの [HPF](ハイパスフィルター）を「ON」にしてください（46 ページ）。 • ALC オフの場合は、設定メニューの REC LIMITER (録音ピークリミッター）を「ON」に設定してください（46 ページ）。

録音したファイルに音とびが発生する	
原因	• microSD カードを本機以外（コンピューターなど）で初期化した。 • microSD カード内のメモリーの断片化が進んでいる。
解決方法	microSD カードを本機で初期化してください（84 ページ）。
原因	推奨品以外の microSD カードを使っている。
解決方法	推奨品の microSD カードをご使用ください（15 ページ）。

カレンダーが正しく表示されない	
解決方法	日時を再設定してください（89 ページ）。

ファイルを削除したのに空き領域が増えない	
原因	ごみ箱の設定が ON になっている。
解決方法	ごみ箱の中身を消去してください（81 ページ）。

タイマーが正常に動作しない（予約録音ができていなかった）	
原因	カレンダーが初期化されている。
解決方法	カレンダーを設定してください（89 ページ）。

原因	録音先のフォルダーがいっぱいになっている。
解決方法	• 不要なファイルを消去してください（82 ページ）。 • 録音先のフォルダーを変更してください。

原因	電池の残量がない。
解決方法	電池を交換してください（18 ページ）。

原因	本機内蔵メモリー、microSD カードの空き容量がない。
解決方法	不要なファイルを消去してください（82 ページ）。

原因	録音先が microSD カードになっているのに、本機に microSD カードが入っていない。
解決方法	microSD カードを入れてください。

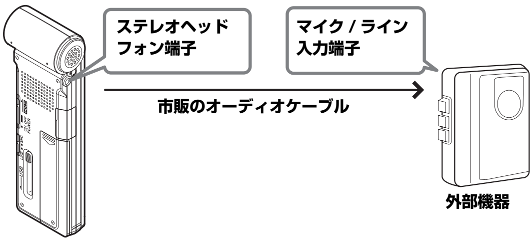
よくあるご質問 (FAQ)

Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ？

A：録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないようにしてください。

Q：録音内容をテープや MD などに保存するには？

A：市販のオーディオケーブル（ステレオミニプラグ：φ3.5mm）を使えば、本機で録音したファイルを、簡単にテープレコーダーや MD レコーダーなどの外部機器にダビングして保存することができます。



使用するオーディオケーブル

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ステレオミニプラグ　φ3.5mm、抵抗入り
音声ライン入力	ステレオミニプラグ　φ3.5mm、抵抗なし

＊ ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
＊ ダビングする前に試し録音をし、本機で音量を調整しておいてください。
＊ テープレコーダーや MD プレーヤーから本機への録音も可能です（39 ページ）。

Q：うまく録音するコツは？

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードやマイク感度を選択してください。16 ページを参考に、本機の設定を行なってください。

Q：コンピューターに一旦保存した録音ファイルを、再び本機に戻したら再生できなくなりました。

A：コンピューターでファイル名を変更していませんか？ファイル名を変更すると、MIC_A ～ D フォルダーや LINE フォルダーに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、MUSIC フォルダーに転送すると再生できるようになります。

主な仕様

対応 OS	Windows 7, Vista, XP Professional/Home Edition			
	Mac OS X 10.4, 10.5, 10.6			
対応メディア	microSD/SDHC カード			
録音モードと録音可能時間（目安）（内蔵メモリー 2GB 使用時）	PCM	24bit	96kHz	約 55 分
			88.2kHz	約 1 時間
			48kHz	約 1 時間 50 分
			44.1kHz	約 2 時間
		16bit	96kHz	約 1 時間 25 分
			88.2kHz	約 1 時間 30 分
			48kHz	約 2 時間 50 分
			44.1kHz	約 3 時間
	MP3	320kbps		約 13 時間 30 分
		192kbps		約 22 時間 30 分
		128kbps		約 34 時間
		64kbps		約 68 時間
		32kbps		約 136 時間
録音形式	MP3、PCM (WAV)			
再生形式	MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3)、WMA			
	PCM (本機で録音したファイルのみ)			
録音周波数特性 (外部マイク録音時)	PCM	96kHz/24、16bit		40Hz ～ 47kHz
		88.2kHz/24、16bit		40Hz ～ 43kHz
		48kHz/24、16bit		40Hz ～ 23kHz
		44.1kHz/24、16bit		40Hz ～ 21.7kHz
	MP3	320kbps		40Hz ～ 21kHz
		192kbps		40Hz ～ 20kHz
		128kbps		40Hz ～ 17kHz
		64kbps		40Hz ～ 7.6kHz
		32kbps		40Hz ～ 6.7kHz
録音周波数特性 (内蔵マイク録音時)	100 ～ 20,000Hz (PCM 録音時) * MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。また、下限値は各録音モード 100Hz になります。			

再生周波数特性	20 ～ 23,000Hz
サンプリング周波数	16kHz ～ 96kHz
再生対応ビットレート	16 ～ 320kbps (MP3)
	32 ～ 192kbps (WMA) * ファイルによっては正常に再生されない場合があります。
端子	USB、ステレオヘッドフォン φ3.5mm ミニ、 ステレオマイク（ライン入力兼用）φ3.5mm ミニ、 microSD カードスロット
動作温度	+5 ℃～ +35 ℃
定格出力（ヘッドフォン）	10mW + 10mW (16Ω 負荷時 , JEITA/DC)
電源	単４形アルカリ乾電池 1 本　または　単４形ニッケル水素電池 1 本
電池持続時間（録音）	アルカリ乾電池：　MP3 64kbps 約 26 時間、 PCM 44.1kHz 16bit 約 16 時間 (録音環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、録音モニターなし、 ALC ON 時）
電池持続時間（再生：ヘッドフォン）	アルカリ乾電池：　MP3 64kbps 約 34 時間、 PCM44.1kHz 16bit 約 18 時間 (再生環境：バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）
電池持続時間（再生：スピーカー）	アルカリ乾電池：　MP3 64kbps 約 19 時間、 PCM44.1kHz 16bit 約 14 時間 (再生環境：バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）
寸法	約 37.6(W) x 113.0(H) x 21.1(D)mm
質量	約 57g (アルカリ乾電池含む）
付属品	単４形アルカリ乾電池 (1)、DVD-ROM (1)、クリップ (1)、 取扱説明書 (1)

- 電池持続時間は、電池や microSD カードの種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。表中の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
- ニッケル水素電池はアルカリ乾電池に対して電池持続時間が約 70% となります。また、電圧が異なるため、電池残量表示が正しく表示されない場合があります。なお、本体でニッケル水素電池の充電はできません。
- 録音可能時間とは、内蔵メモリーに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合のすべてのフォルダーの最大合計時間です。
- お買い上げ時は内蔵メモリーに PDF 形式の取扱説明書が保存されていますので、録音可能時間は表中の時間より短くなります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

同梱ディスクについて

ご注意

- 付属のソフトウェアの著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 付属のソフトウェアのディスクは、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ・ビジュアル用の CD/DVD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ヤマハ株式会社では、付属のソフトウェアについてのサポートは、一切行なっておりません。

付属 DAW ソフトウェアについて

同梱のディスクには付属 DAW ソフトウェアが入っています (Windows/Macintosh)。

Note：

- 付属 DAW ソフトウェアをインストールするときは、管理者権限のあるアカウントで行なってください。
- 付属の DAW ソフトウェアを継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で付属のソフトウェアを起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。

最新の動作環境については、下記の URL をご参照ください。

http://www.yamahasynth.com/jp/

サポートについて

付属 DAW ソフトウェアについては、スタインバーグ社のホームページをご覧ください。スタインバーグ社のホームページでは、製品に関するサポート情報や最新のアップデータのダウンロード、FAQ などを下記 URL にて公開しております。

http://japan.steinberg.net/

付属 DAW ソフトウェアの [ヘルプ (Help)] メニューからスタインバーグ社のホームページにアクセスできます。（ヘルプメニューには付属 DAW ソフトウェアの PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。）

ユーザーサポートサービスのご案内

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。
ユーザー登録手続きは、下記ヤマハホームページよりお願いします。

ヤマハホームページ
http://www.yamahasynth.com/jp/

* ユーザー登録には、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれたシリアル番号（SER No.) が必要になります。

住所 / 氏名 / メールアドレスの変更 (同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合は、上記ヤマハホームページよりお手続きください。

質問の受付

ヤマハデジタル製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。
しかし、一部高機能デジタル製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。
実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。
そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではシンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口を開設いたしております。
お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。
お問い合わせの際には、「製品名」、「シリアル番号 (SER No.)」をお知らせください。

お客様コミュニケーションセンター シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-015-808**
※ 一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは 053-460-1666
受付時間　月曜日～金曜日　10:00 ～ 18:00、土曜日　10:00 ～ 17:00
（祝日およびセンター指定休日を除く）
http://www.yamaha.co.jp/support/music-production/index.html
* 営業日や営業時間を変更させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

付属 DAW ソフトウェア (DVD-ROM) については、Steinberg 社のホームページをご覧ください。Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や、最新のアップデータのダウンロード、FAQ などを下記 URL にて公開しております。

http://japan.steinberg.net/

付属 DAW ソフトウェアの [ヘルプ (Help)] メニューから Steinberg 社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには、付属 DAW ソフトウェアの PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。)

・ **営業窓口**

国内営業本部 EKB・LM 営業部 営業推進室
〒 108-8568 東京都港区高輪 2-17-11
TEL 03-5488-5430

PA・DMI 事業部 PA 推進部 MIPA マーケティンググループ
〒 430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

ヤマハデジタル楽器・DTM 製品ホームページ
http://www.yamahasynth.com/jp/

ヤマハマニュアルライブラリー
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

あなたの音楽生活をフルサポート　ミュージックイークラブ
http://www.music-eclub.com/

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

サービスについて

■ 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

保証書は裏表紙にあります。

● 保証期間

お買い上げ日から１年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

消耗部品の例
コントロール、スイッチ、ランプ、接続端子など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後８年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
（全国共通番号）　**0570-012-808**
※ 一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは TEL 053-460-4830
受付時間　月曜日～金曜日　9:00 ～ 18:00、土曜日　9:00 ～ 17:00
（祝日およびセンター指定休日を除く）
FAX　053-463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間　月曜日～金曜日　9:00 ～ 17:45
（祝祭日および弊社休業日を除く）

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内 FAX 011-512-6109
首都圏サービスセンター	〒 143-0006	東京都大田区平和島 2 丁目 1-1 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F FAX 03-5762-2125
名古屋サービスセンター	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町 2 丁目 1-2 ヤマハ (株) 名古屋倉庫 3F FAX 052-652-0043
大阪サービスセンター	〒 564-0052	吹田市広芝町 10-28 オーク江坂ビルディング 2F FAX 06-6330-5535
九州サービスステーション	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4 FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

索引

へ

ほ

ま

め

よ

ら

り

れ

ろ

無償修理規定

1. 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。

2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。

3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。

(1) 本書のご提示がない場合。

(2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。

(3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。

(4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。

(5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。

(6) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

5. 裏表紙の保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 裏表紙の保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

＊ 裏表紙の保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

＊ ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

持込修理

保　証　書

品　名	POCKET RECORDER	
品　番	POCKETRAK C24	
※シリアル番号		
保証期間	本　体	お買い上げの日から１年間
※お買上げ日	年　月　日	
お客様	□□□-□□□□ ご住所 お名前　　　様 電　話　（　　）	

ご販売店様へ　※ 印欄は必ずご記入してお渡しください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
（詳細は 127 ページの無償修理規定をご覧ください）

※販売店	店　名	印
	所在地	
	電　話	（　　）

ヤマハ株式会社　PA・DMI事業部
〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町10番1号
TEL 053-460-2432

ヤマハデジタル楽器・DTM 製品ホームページ
http://www.yamahasynth.com/jp/
ヤマハマニュアルライブラリー
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation

1AJ6P1P0071-- 004IP-B0